

石立
稽古

置碁自在

八目之部全

九

79

3704

9

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

79
3704
9

置碁自在

藏書田

白回三と打時ぬき

一而花ふ三のふ四比

手打奉活まをく

して右必錯の形也

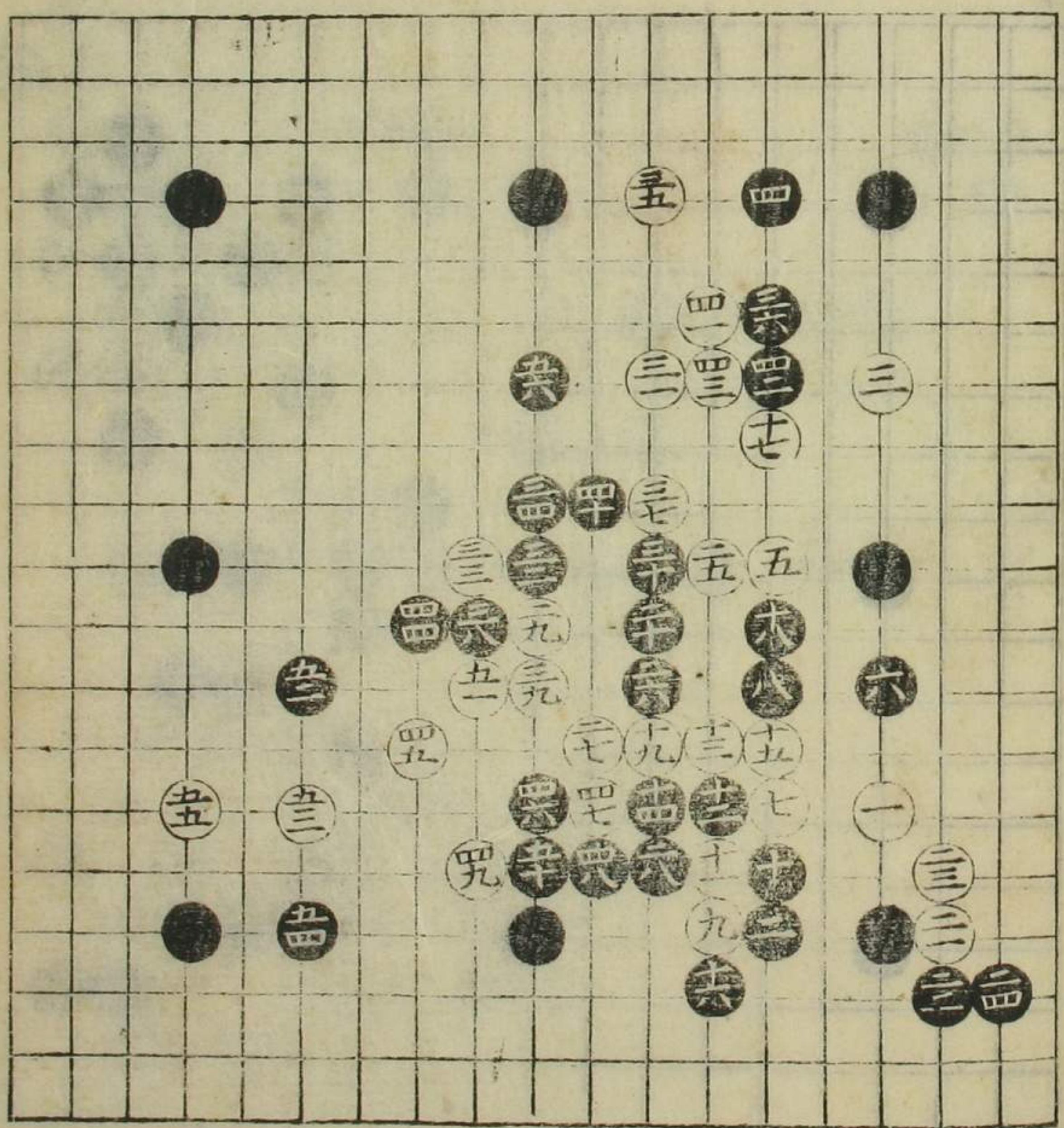
六石

八石

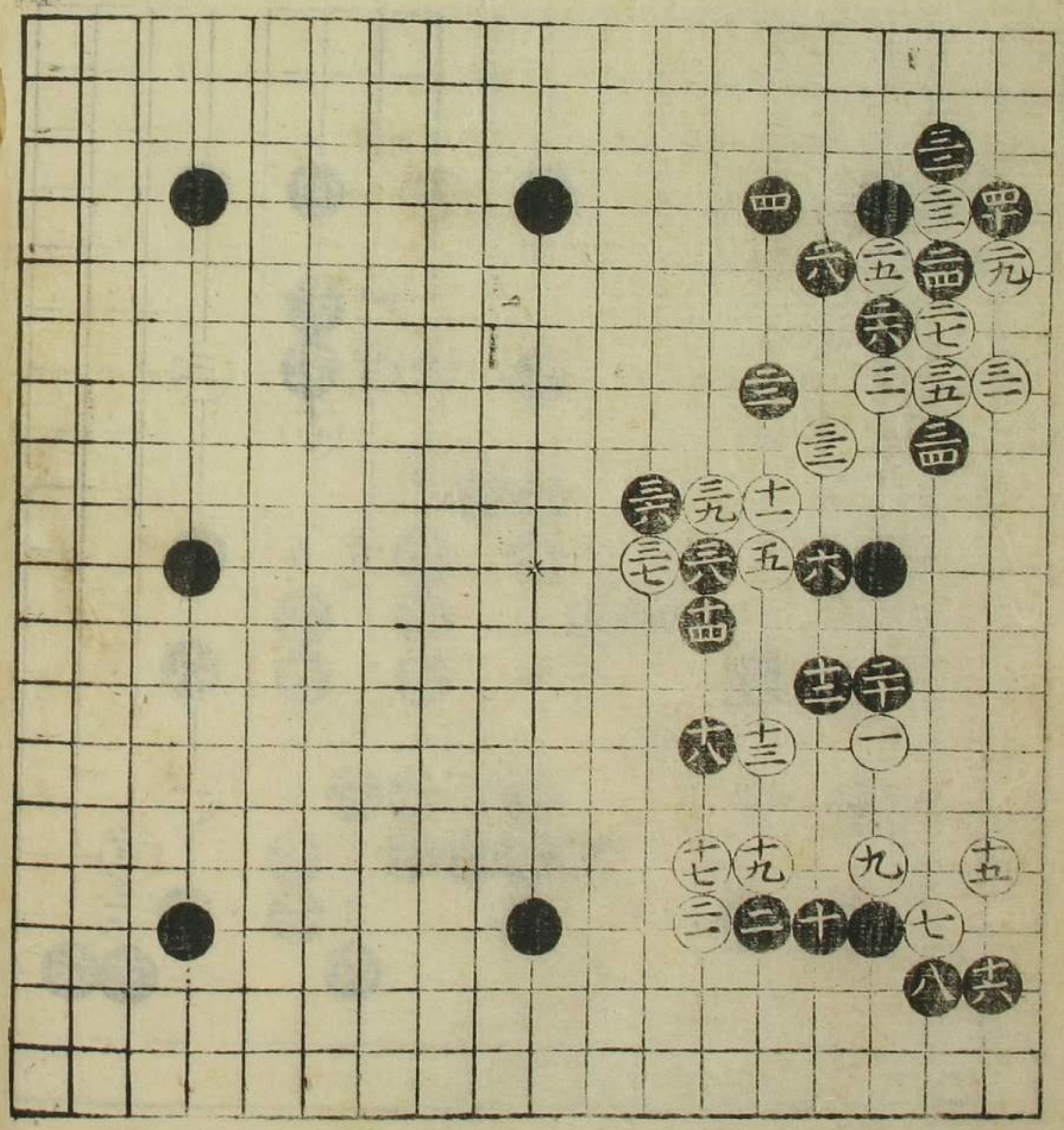
十八石

三十六石

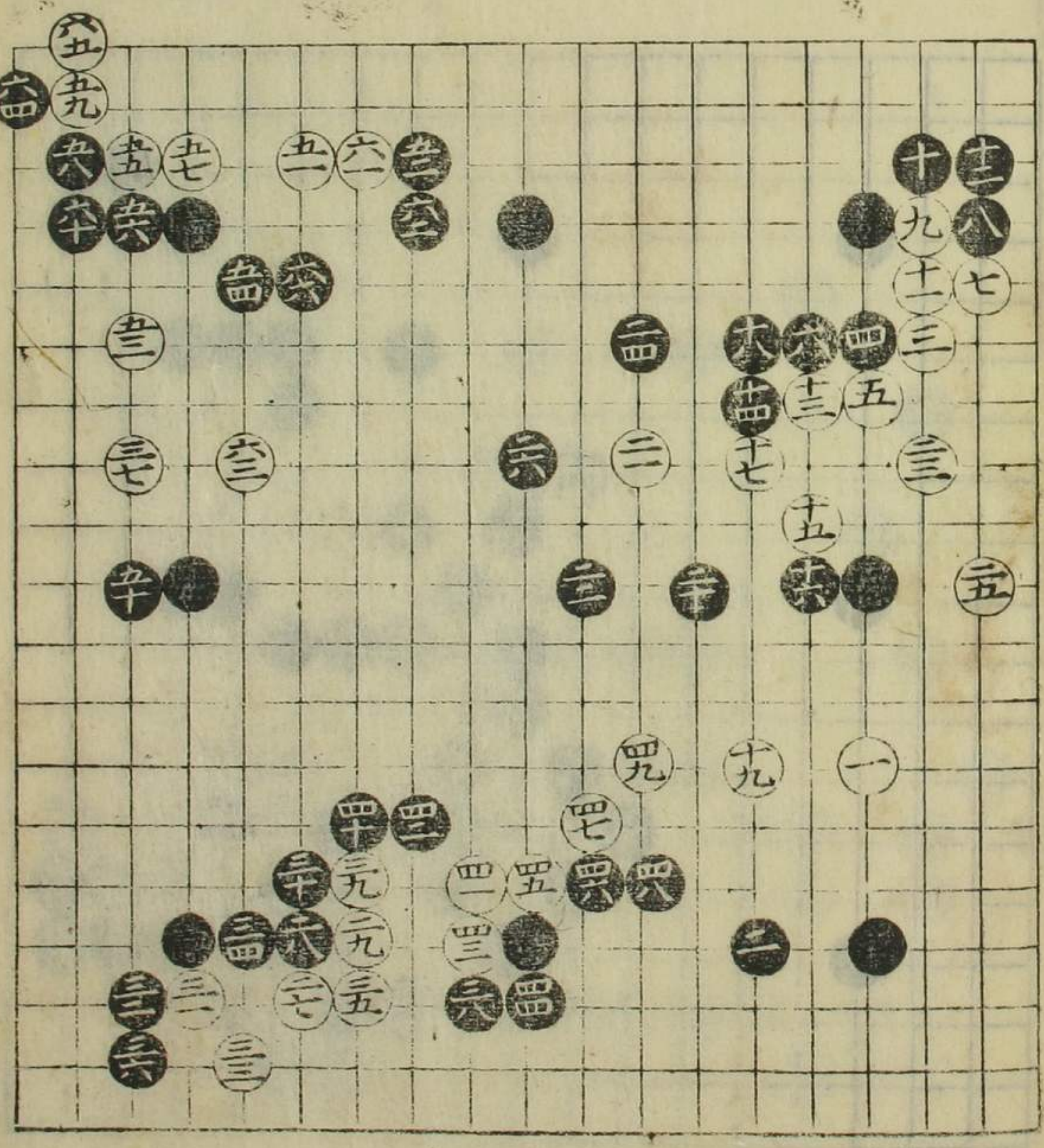
八目置之部



黒十四桂馬は折り、
 毎度から形之考へ足
 之しぬをあらう七筋
 あり形之黒六よし
 左に飛越ゆるり
 是ハ結出さ形なり
 八の八
 十八番
 粘



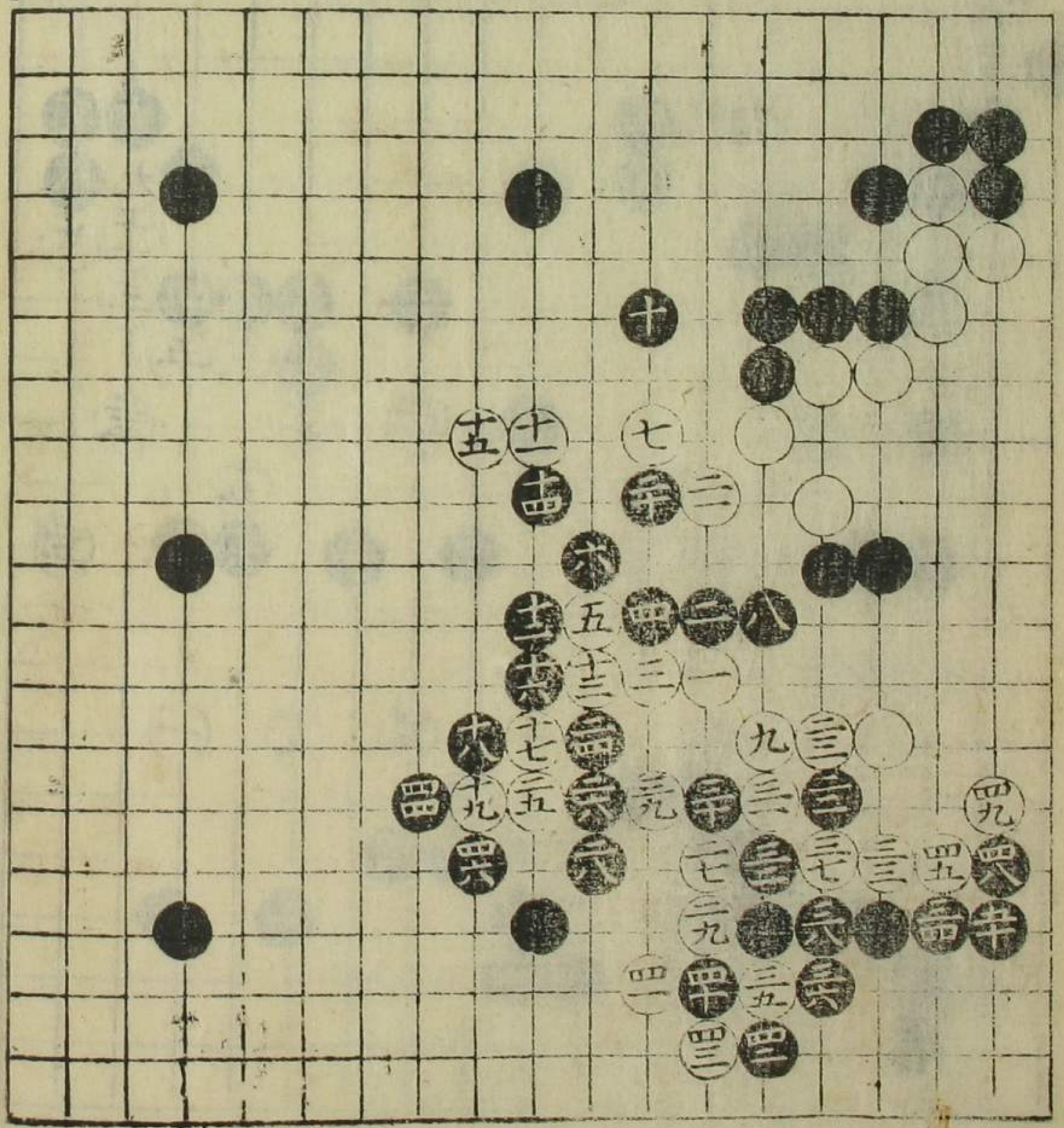
此上を折白を下へ
 折せ大位よかて八白
 より一折越ゆるり
 是ハ黒必指の
 形也次記を
 十八番
 二四番
 二六番
 五十六番
 六六番



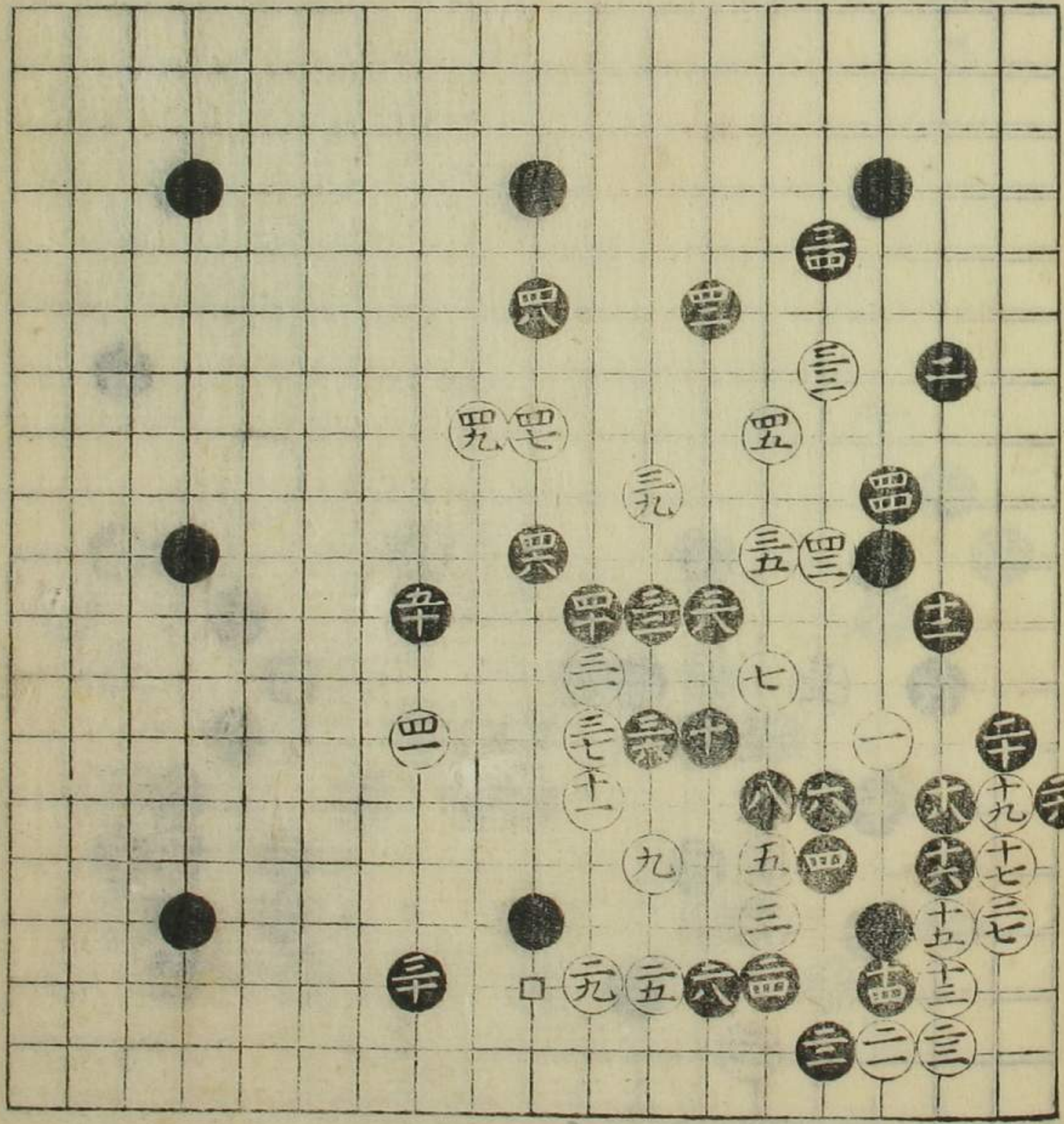
八目置之部

二

飛星自九此より
 移る
 ぬ是移りて黒
 大石右必獲の形こ
 要 劫る

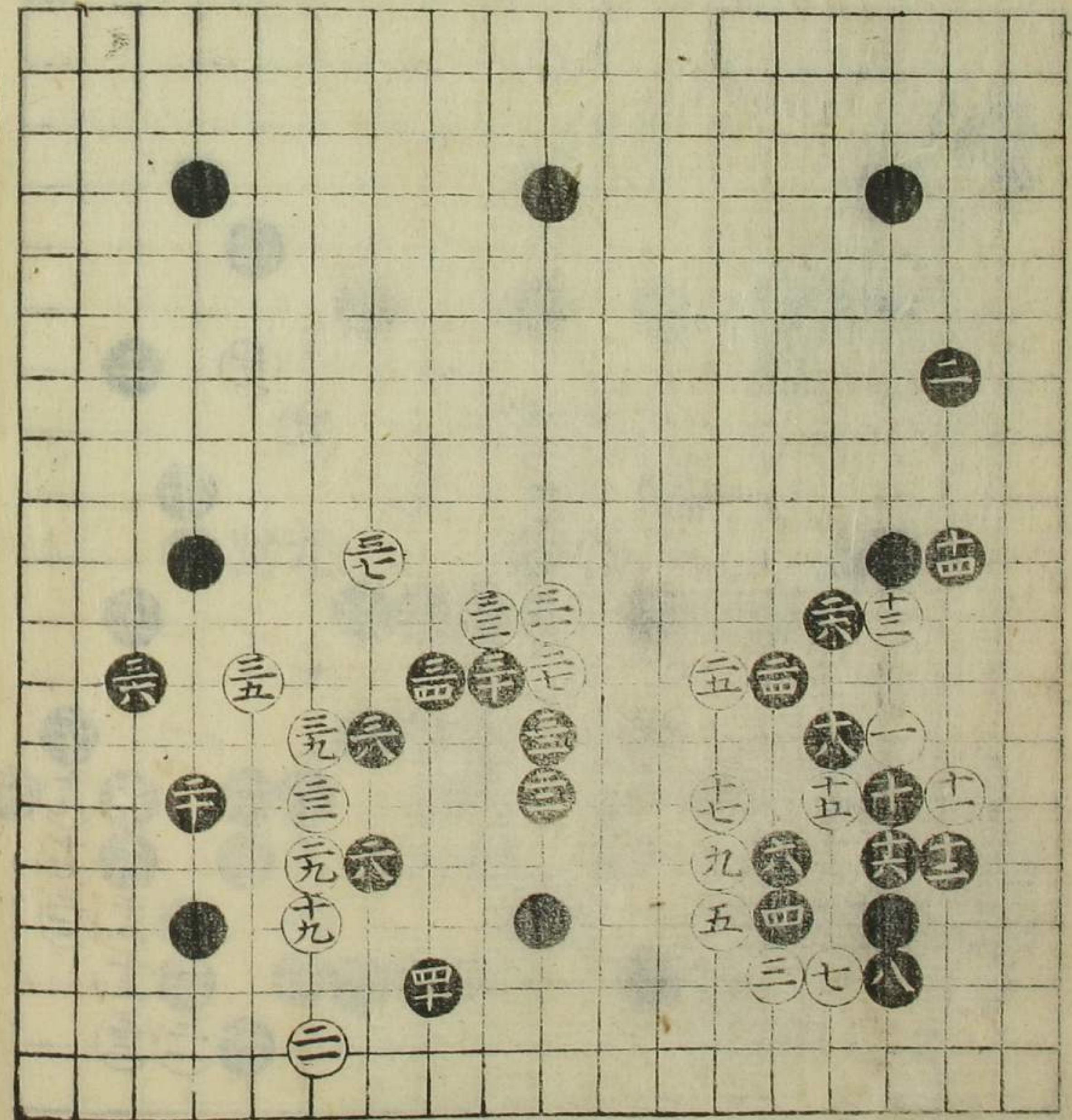


白二九くぬ色抄付と
 □下へ抄て八箇へ廣さ
 悪一三下とぬりう
 右らぬ及一三四角の
 ちありふもあり三九白
 石の活りの者
 四六右
 四八右



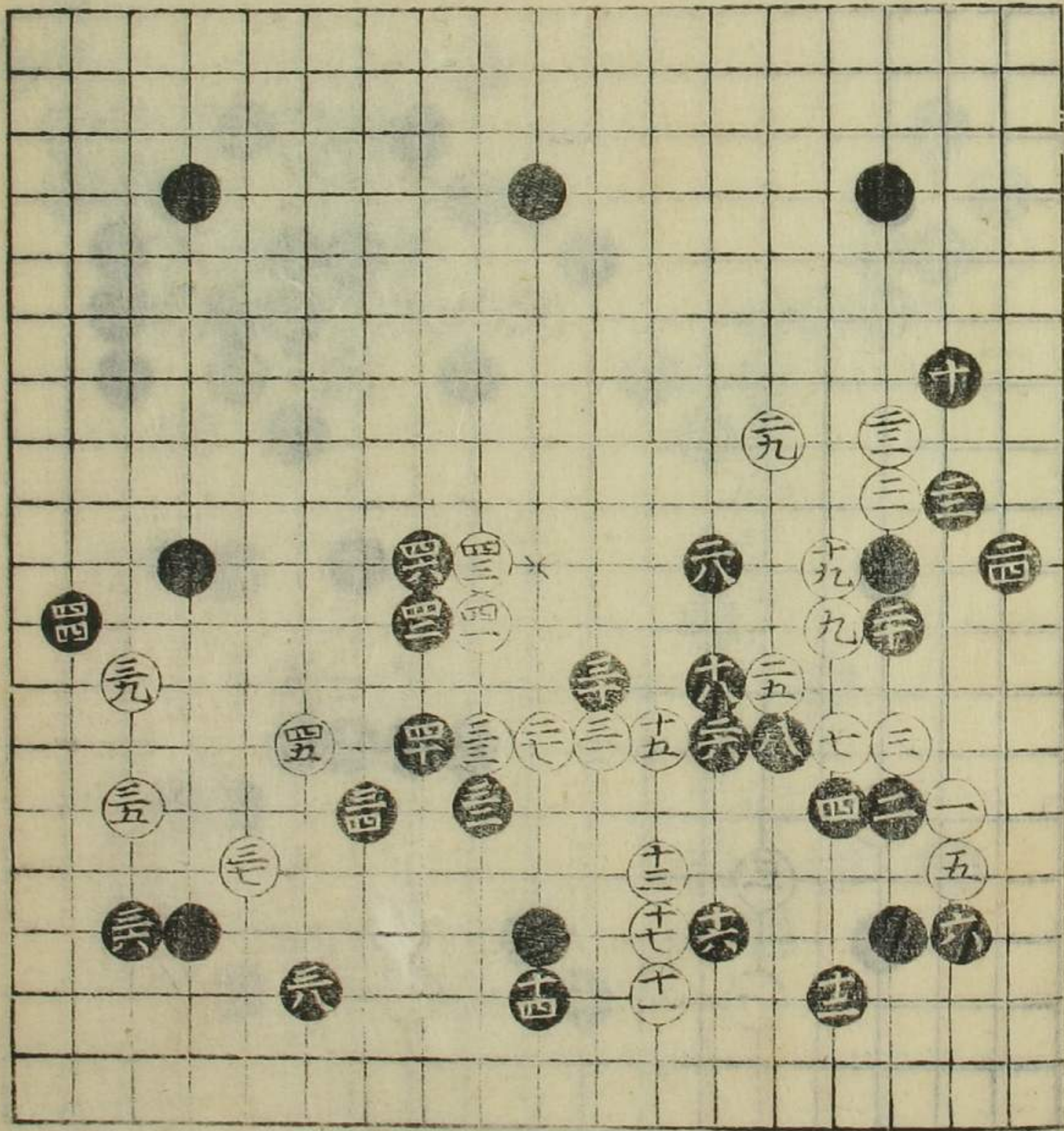
八目置之部

此石立一白活をく必
 勝の取なり
 二四右
 二六右



黒十八の石二十と必此
 打獲向之は均見へし
 必獲の形也勢便子
 礼之

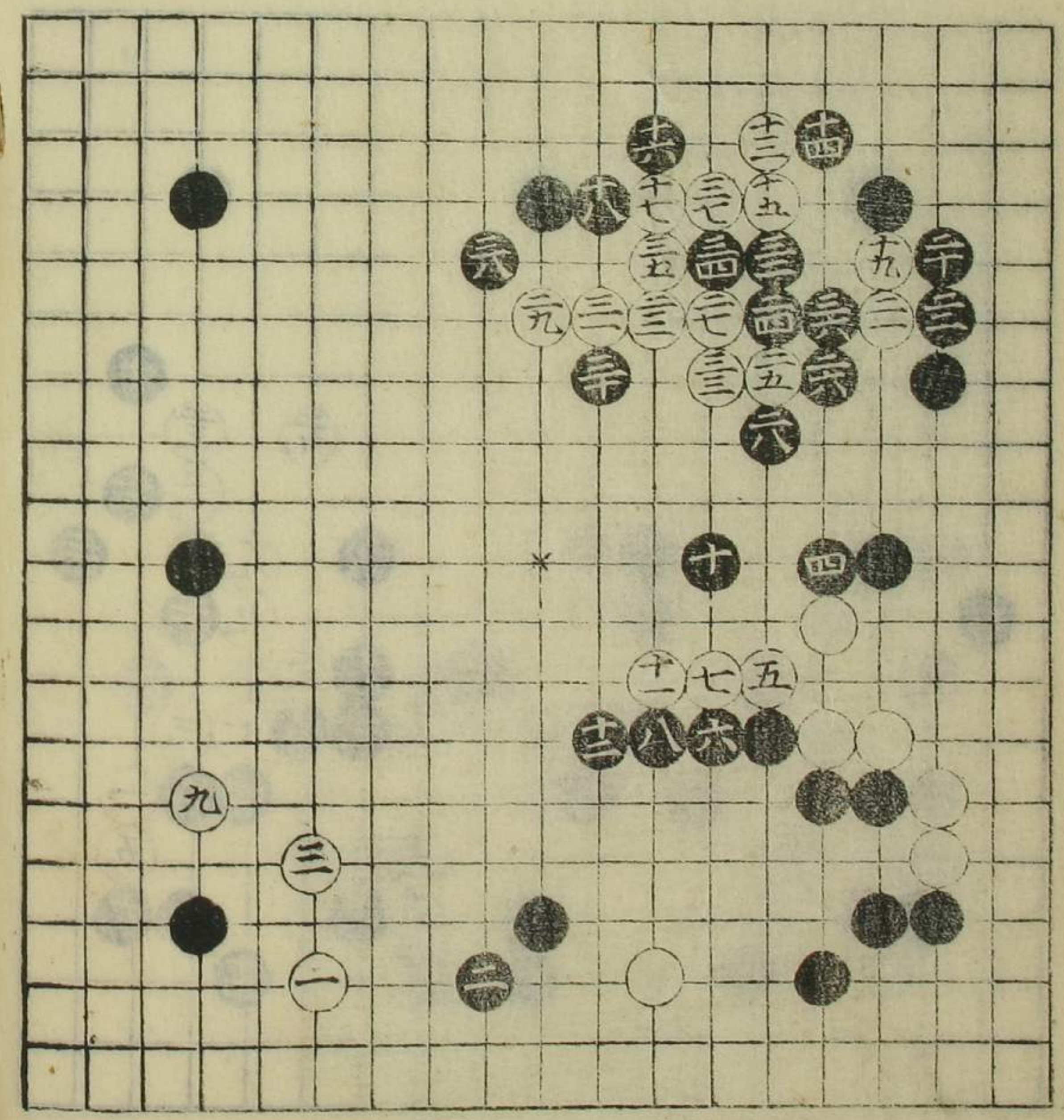
四二右
 四四右
 四六右



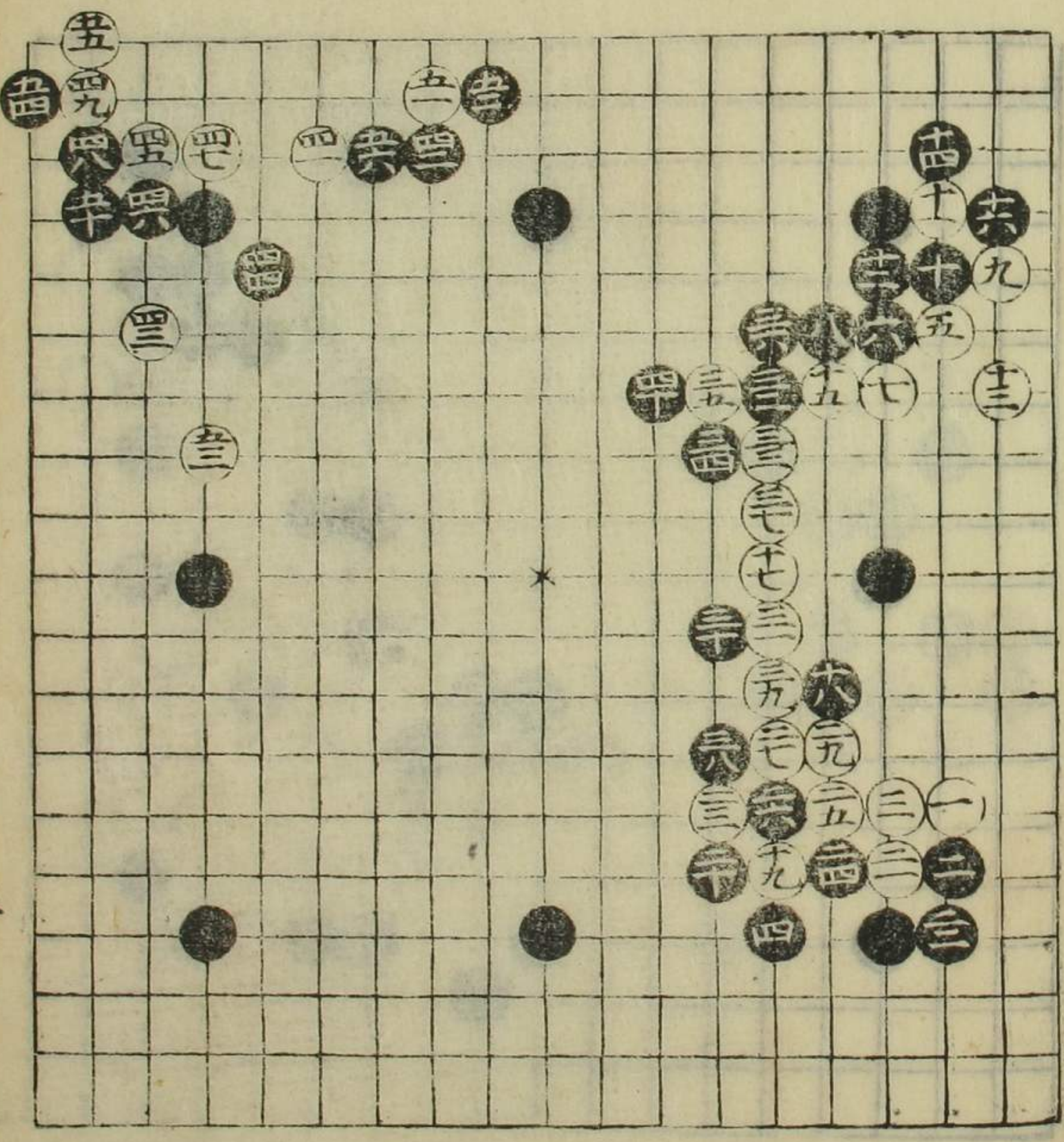
八目置之部

四

若墨自十三以下より
 妙
 黒十のよきを取列て
 十四十六のよきを取
 黒はくめて白より強
 向を必指し取之
 二番
 十番
 三八番

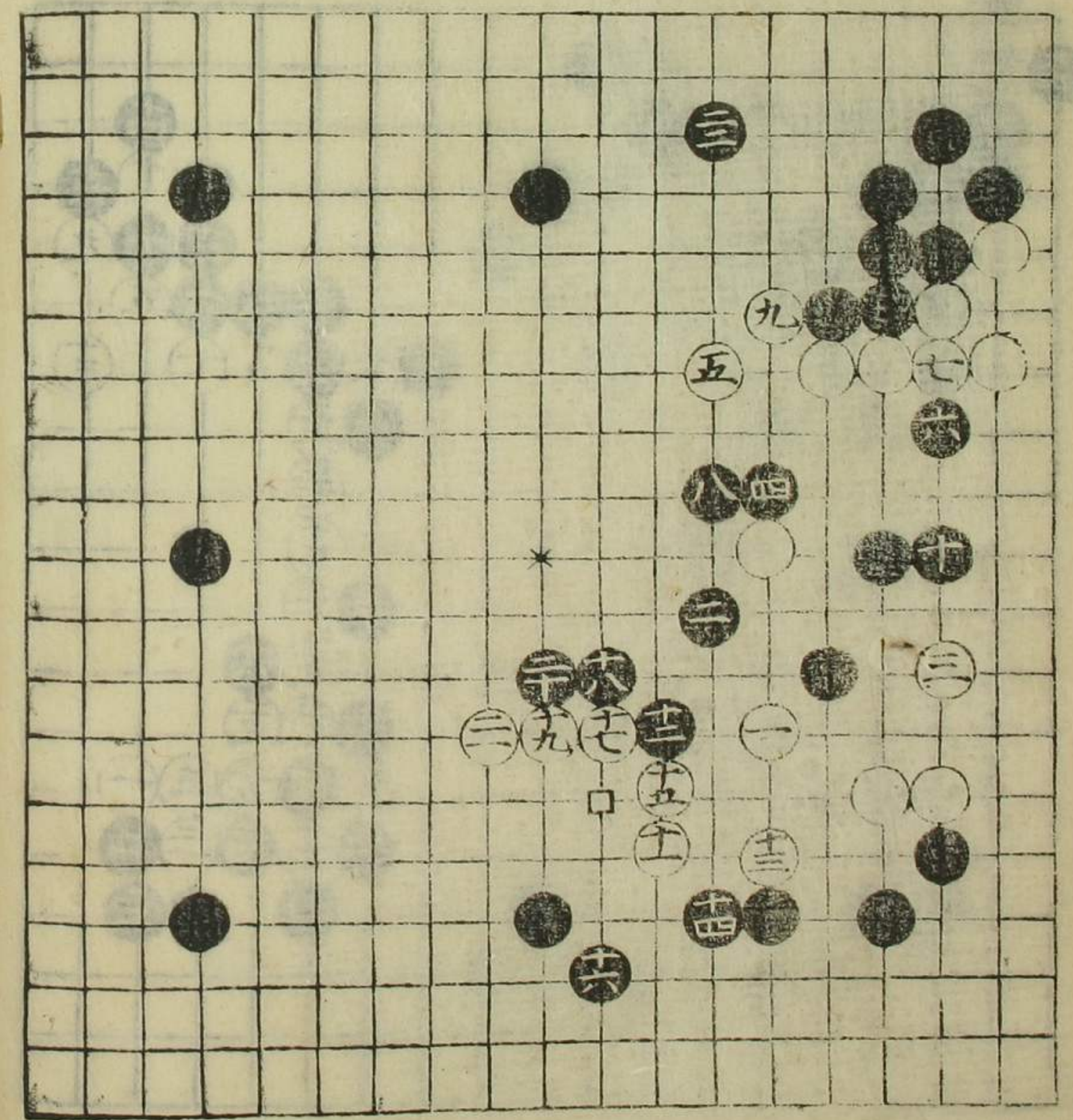


白地合をあらはれ左
 右ありしは黒大位は
 ありたりは黒大位は
 何のよきをとれども必
 ありたりは黒大位は
 ありたりは黒大位は
 ありたりは黒大位は

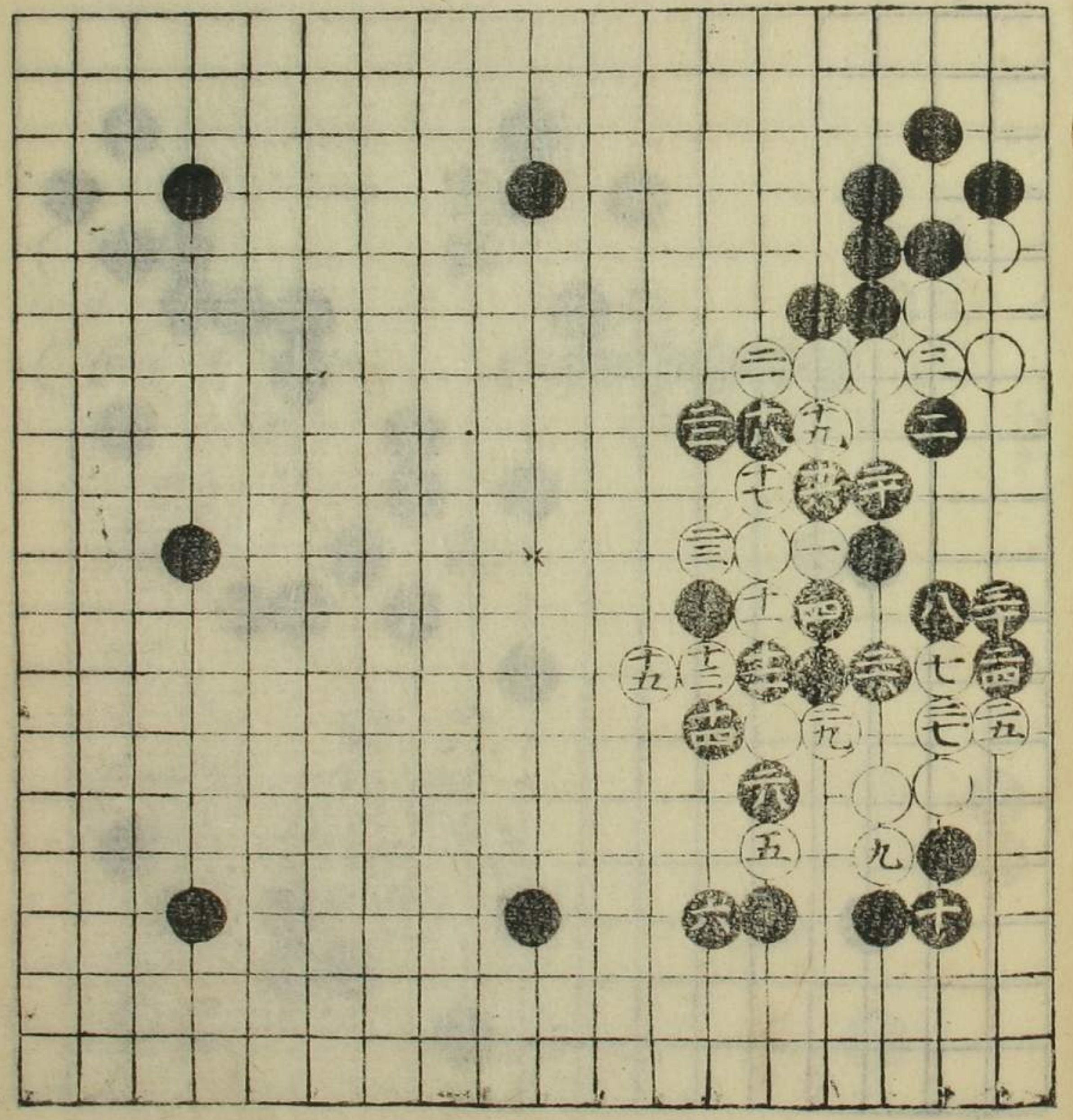


八目置之部

花白十九はより
 勢
 黒二の子花より
 筋ありぬ此れも
 黒活を白十一の
 時口下桂るに抄
 も右端り次記
 記

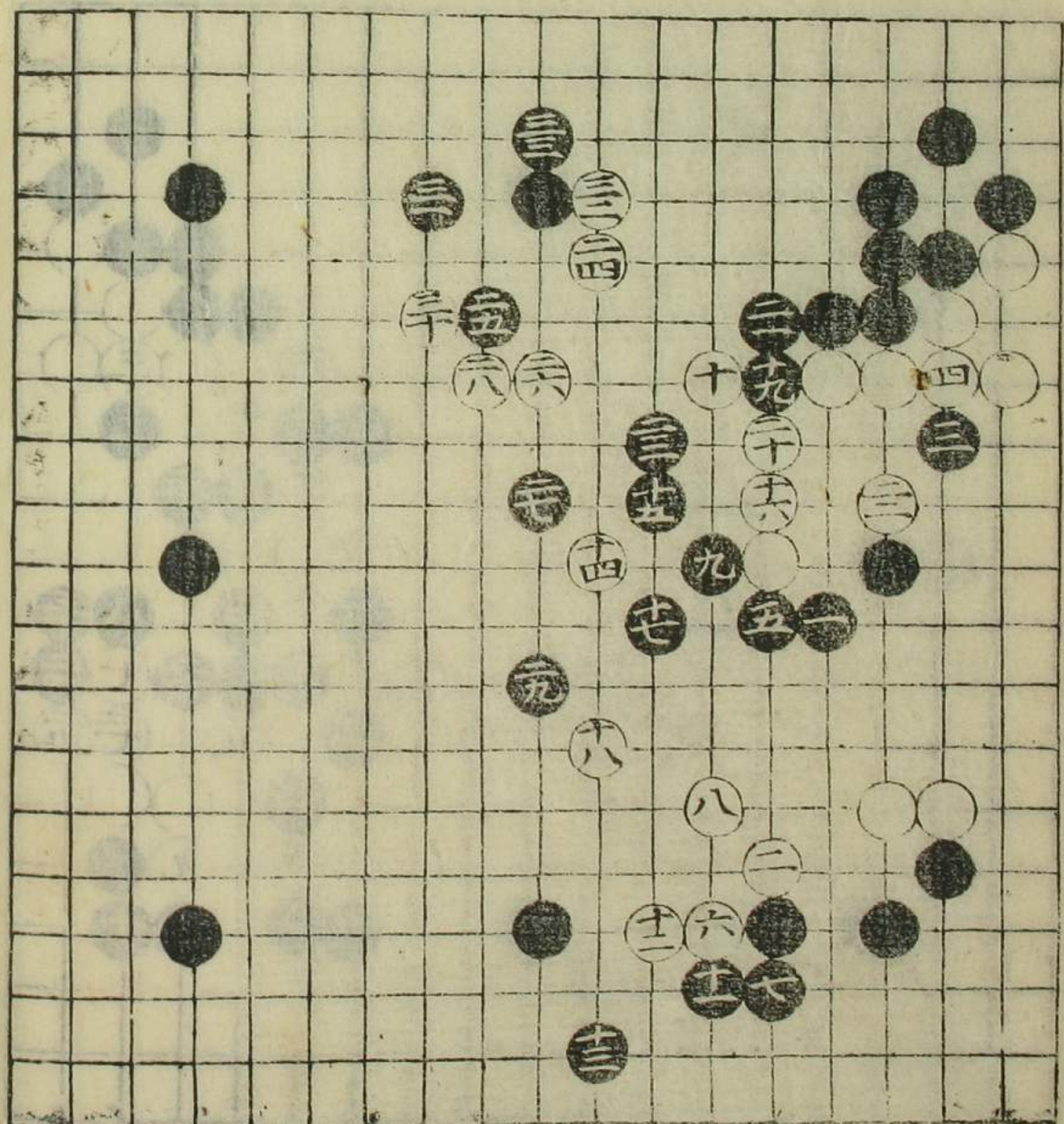


花白三はより
 勢
 ぬ是ありても必
 勝之習次記之
 六右

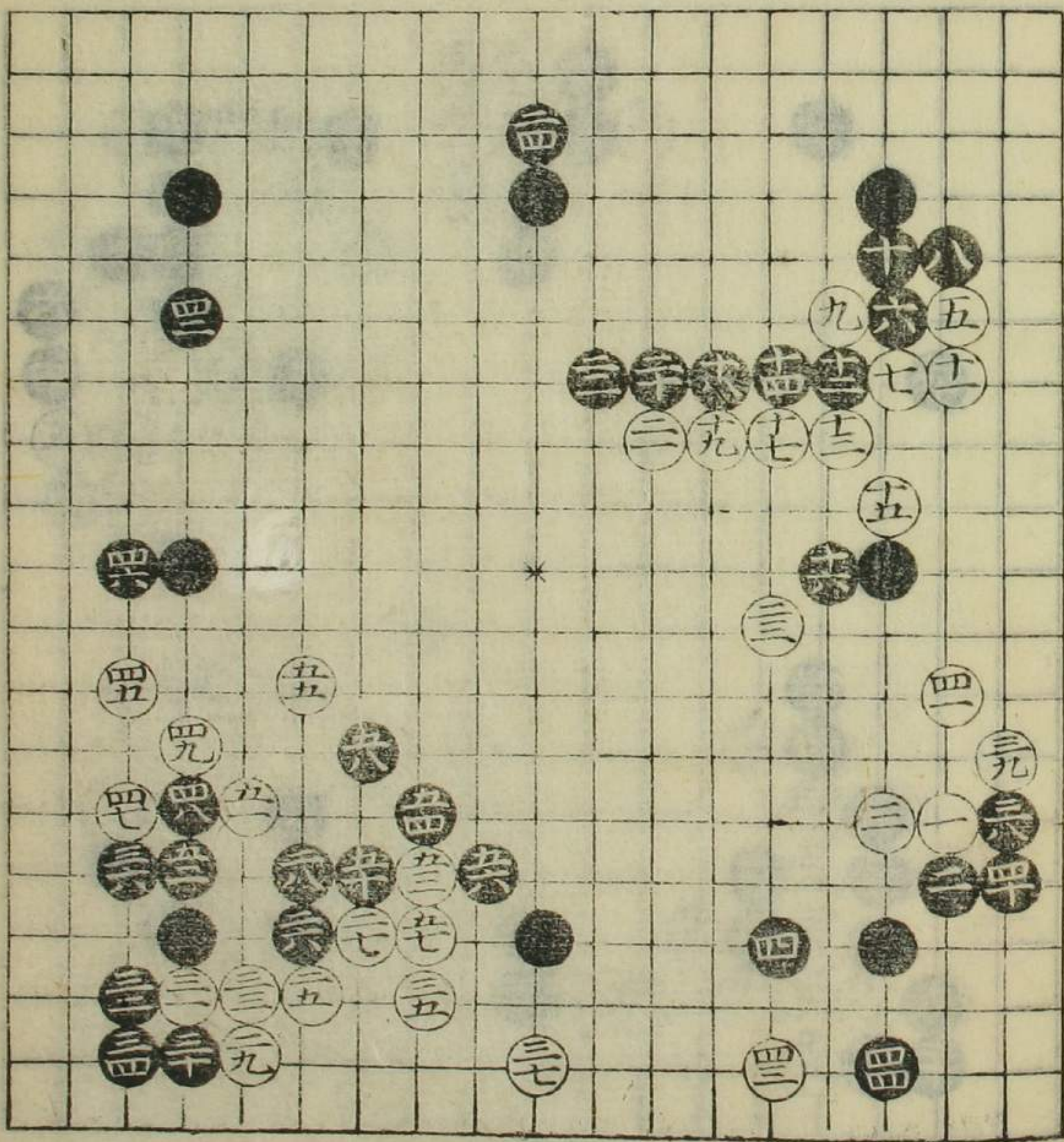


八目置之部

本星黒十八はより
 増す
 ぬきと打五と打
 ころを二九三流
 へてたを右の形
 見ると必勝の形
 あり
 十九番
 二三番

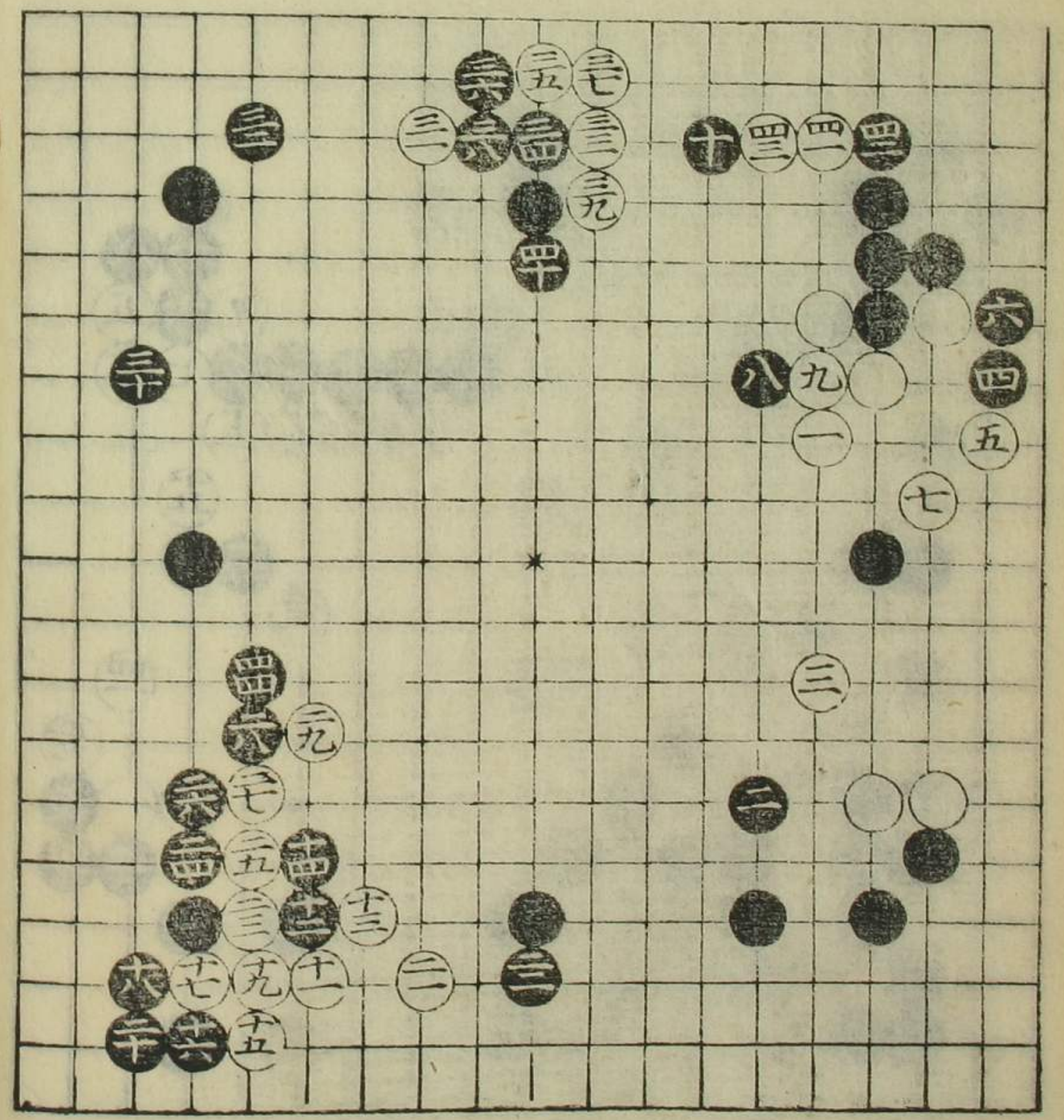


十六と打十七と押せ
 て二四とぬき十八黒
 大目番三七と打黒
 三八と二目を打ち
 ぬき十九番必勝の
 形之増すは必
 四十番
 四四番

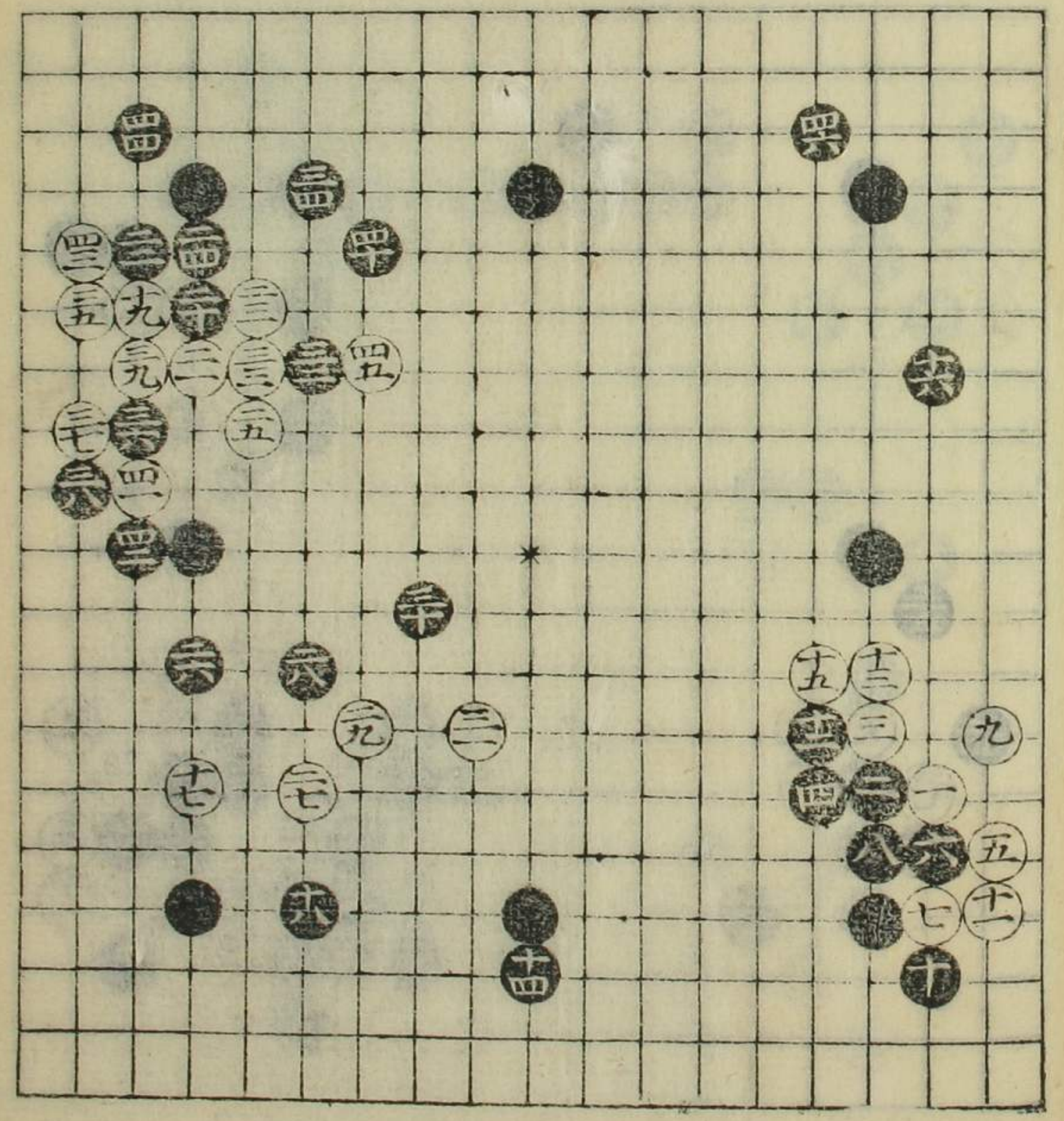


八目置之部

若墨白十はより
 勝り
 黒二の子三と打せ
 四とぬば赤は若後
 ありんぬし二三若
 二目拾う強向之必
 勝の取あり
 三十若
 四四若

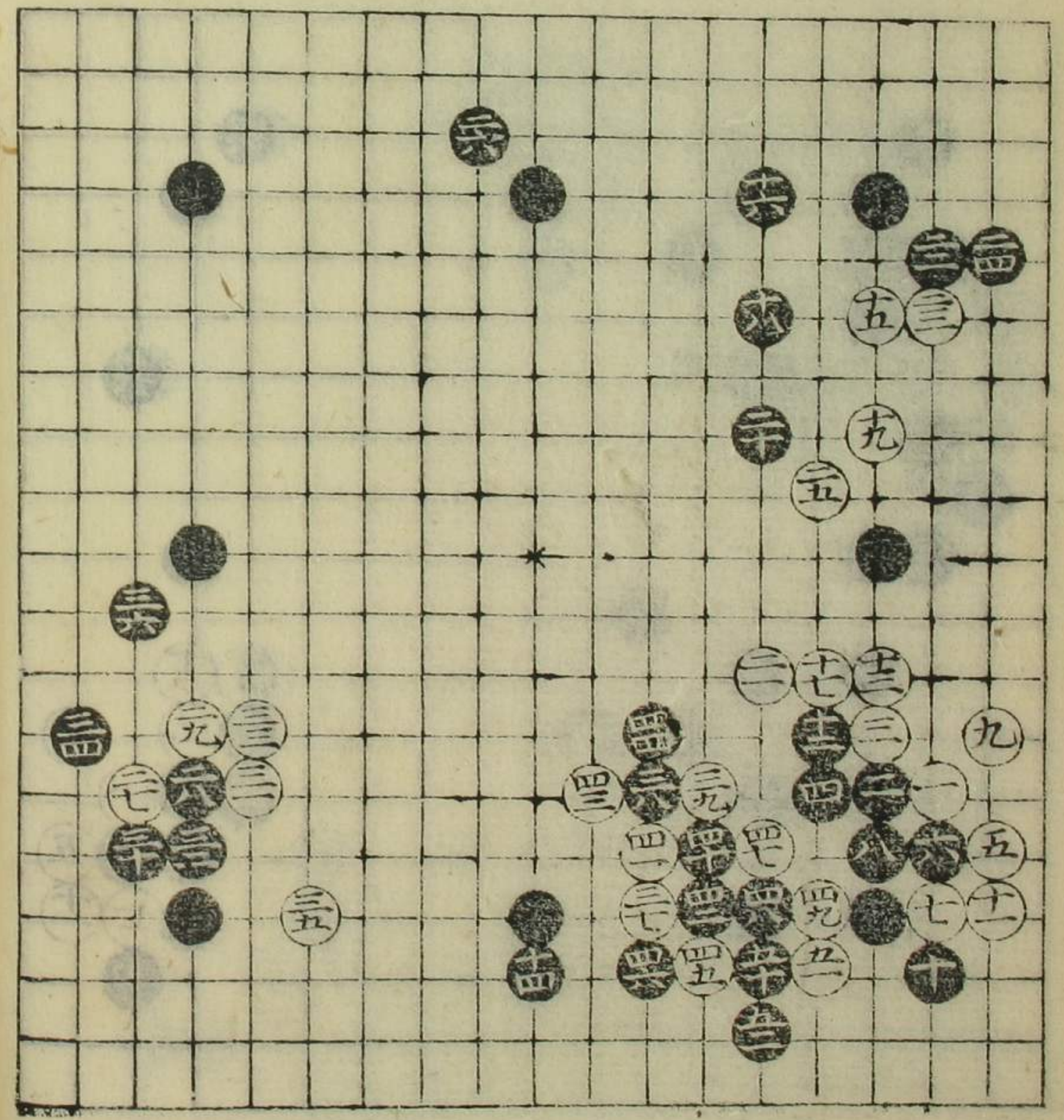


二六とぬば打中進出
 るんぬ十四のよき取
 大は若白三九四へ先
 へ打方面必し必勝の
 形あり
 十四若
 十八若
 四十若



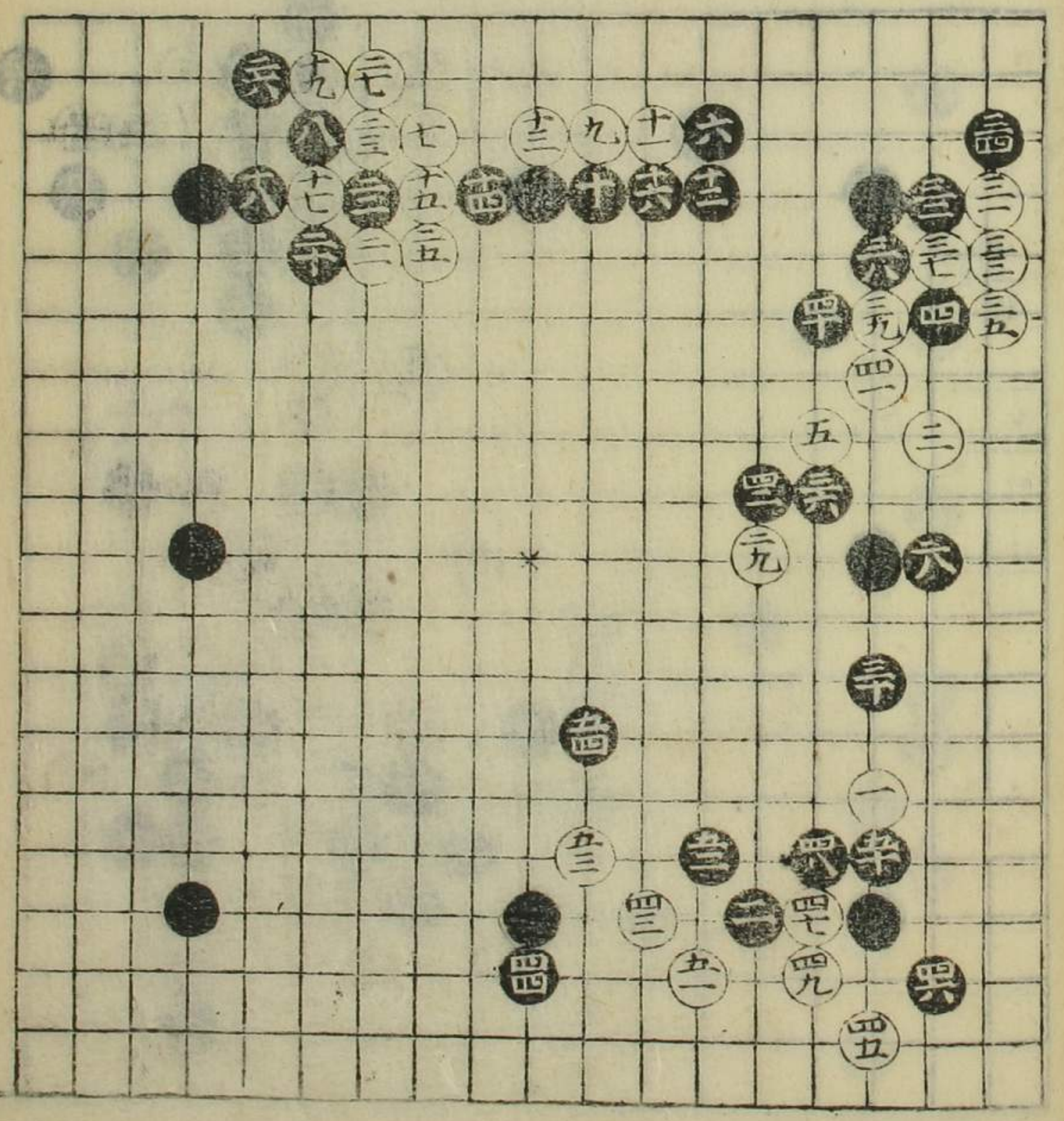
八目置之部

此是六位の位より
 一八白より移るなり
 必勝なり
 十四石
 十八石
 二四石
 二六石
 三六石
 三八石

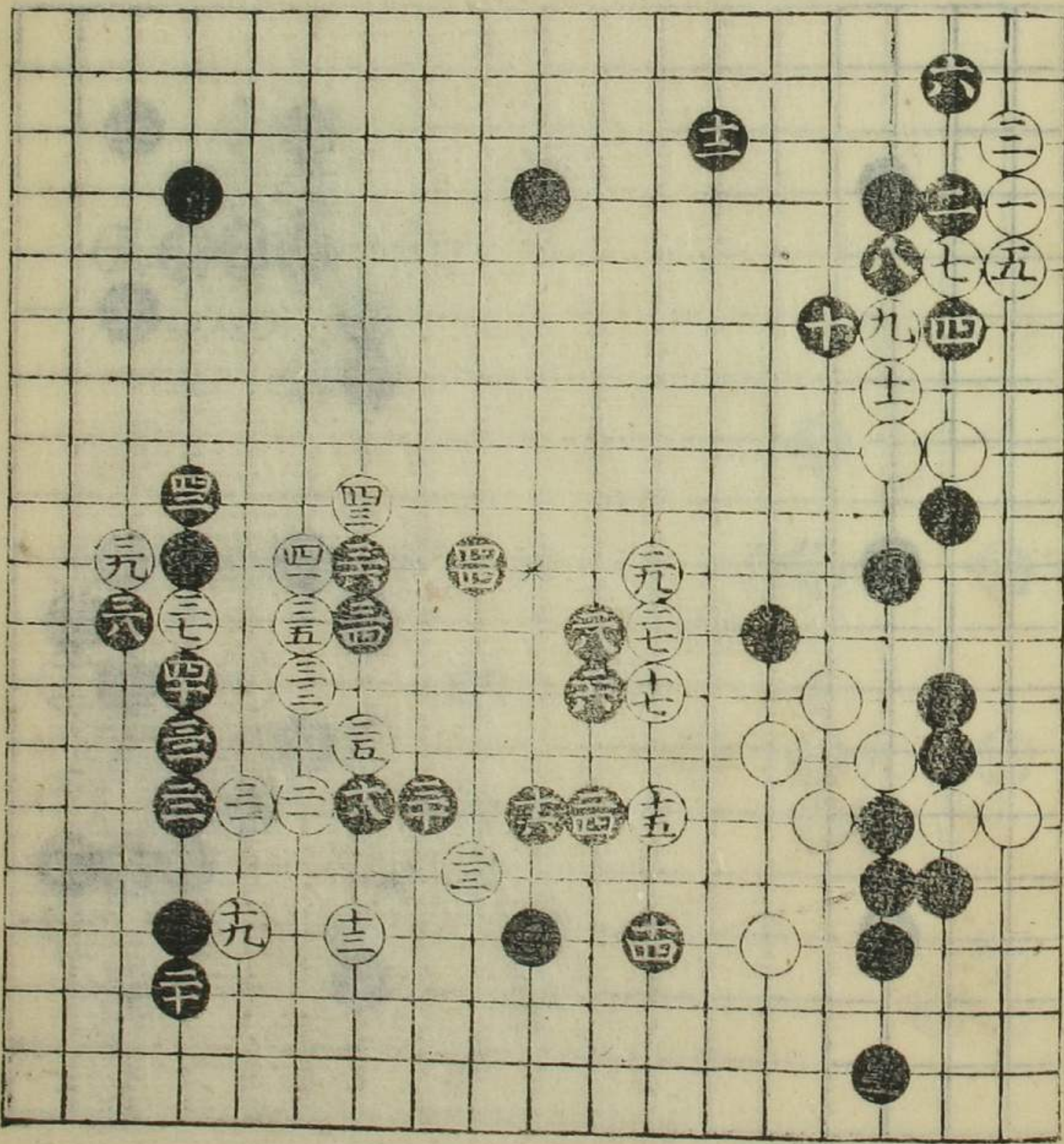


此石立一白珍なり
 十四石
 二八石
 四四石
 五四石
 西粘

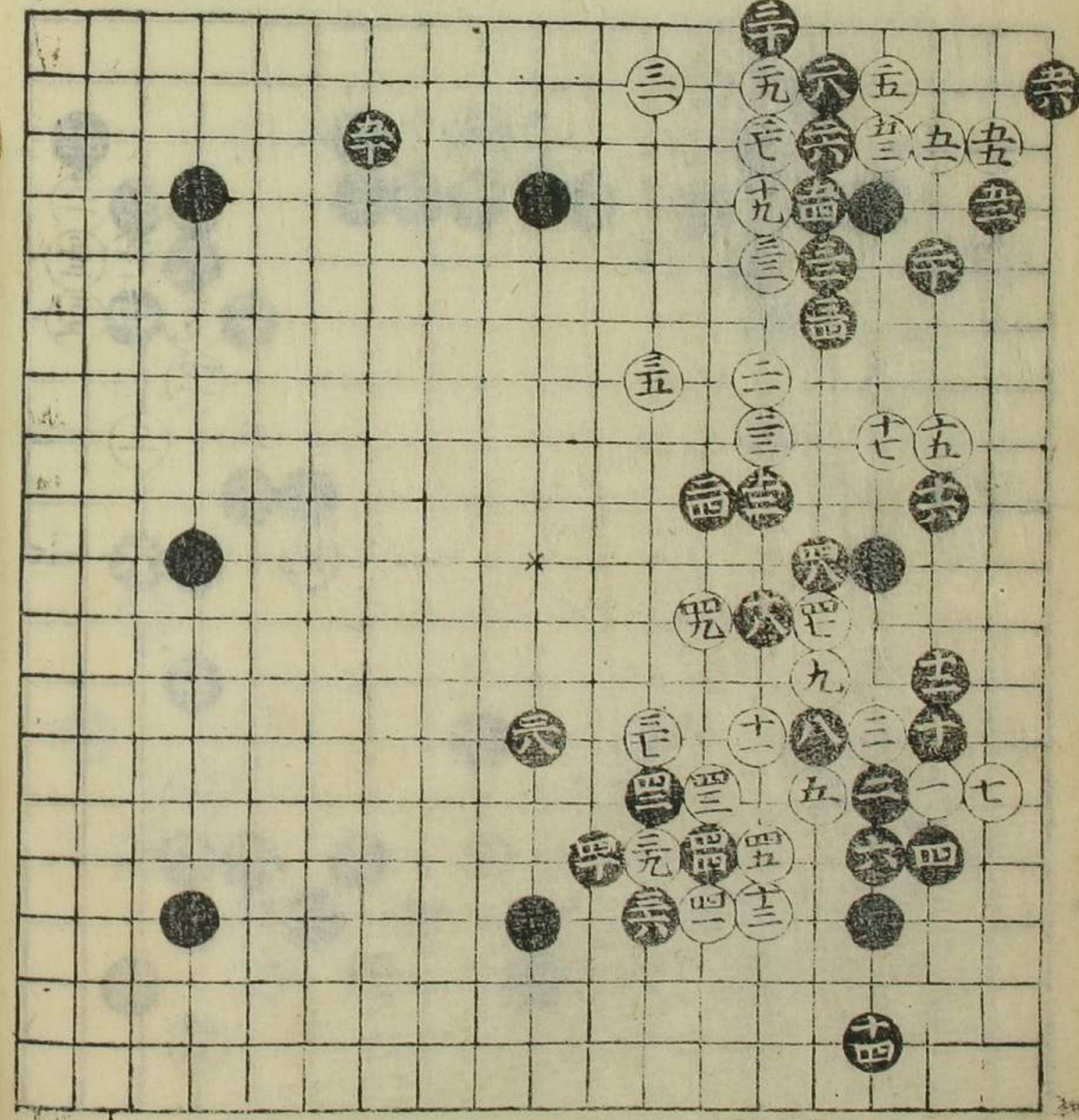
八目置之部



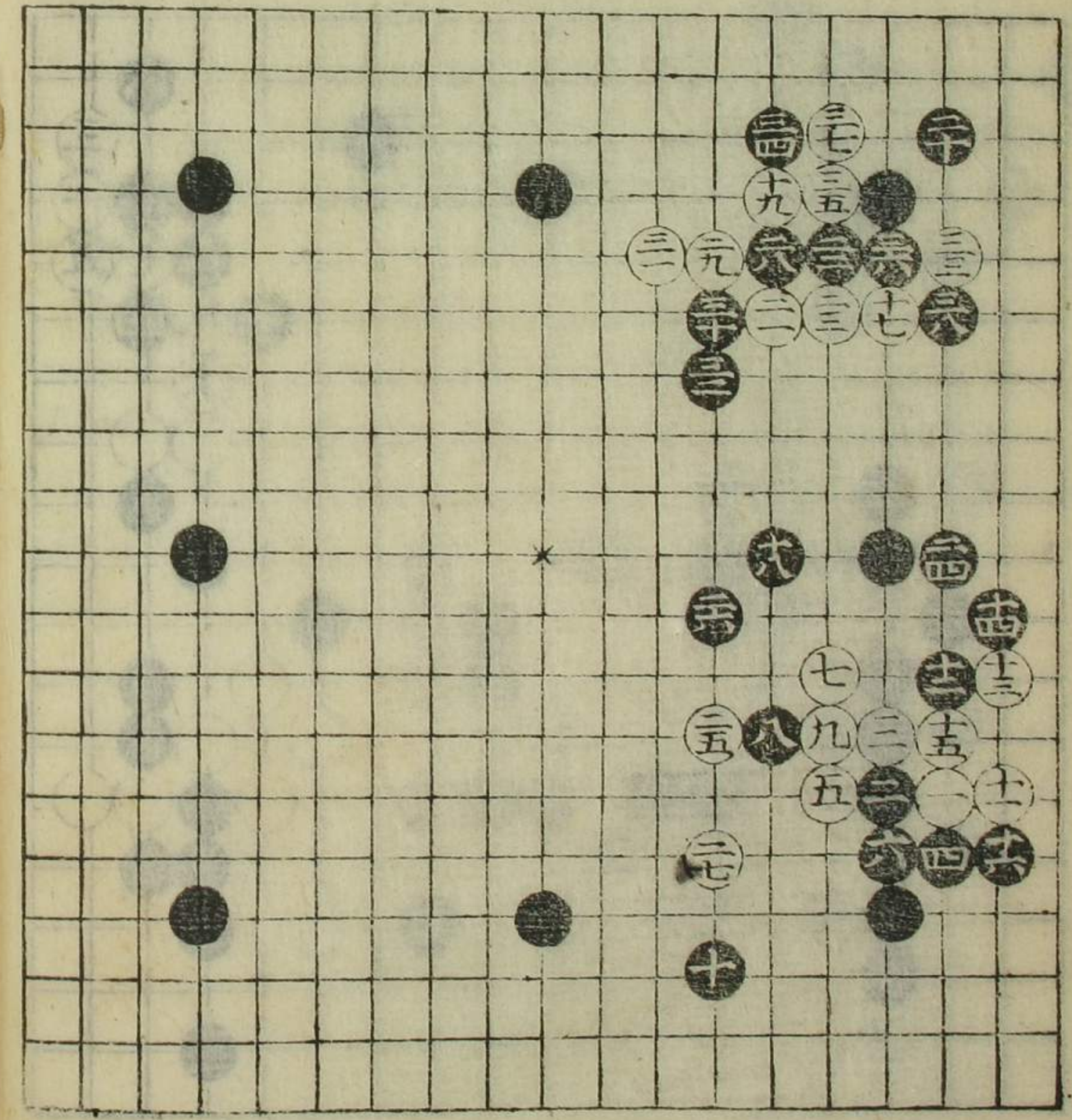
若墨阜九比より
 勢
 三四の勢向同く
 筋入心均おし世有
 必捕れ難
 二二名
 三四名
 四二名



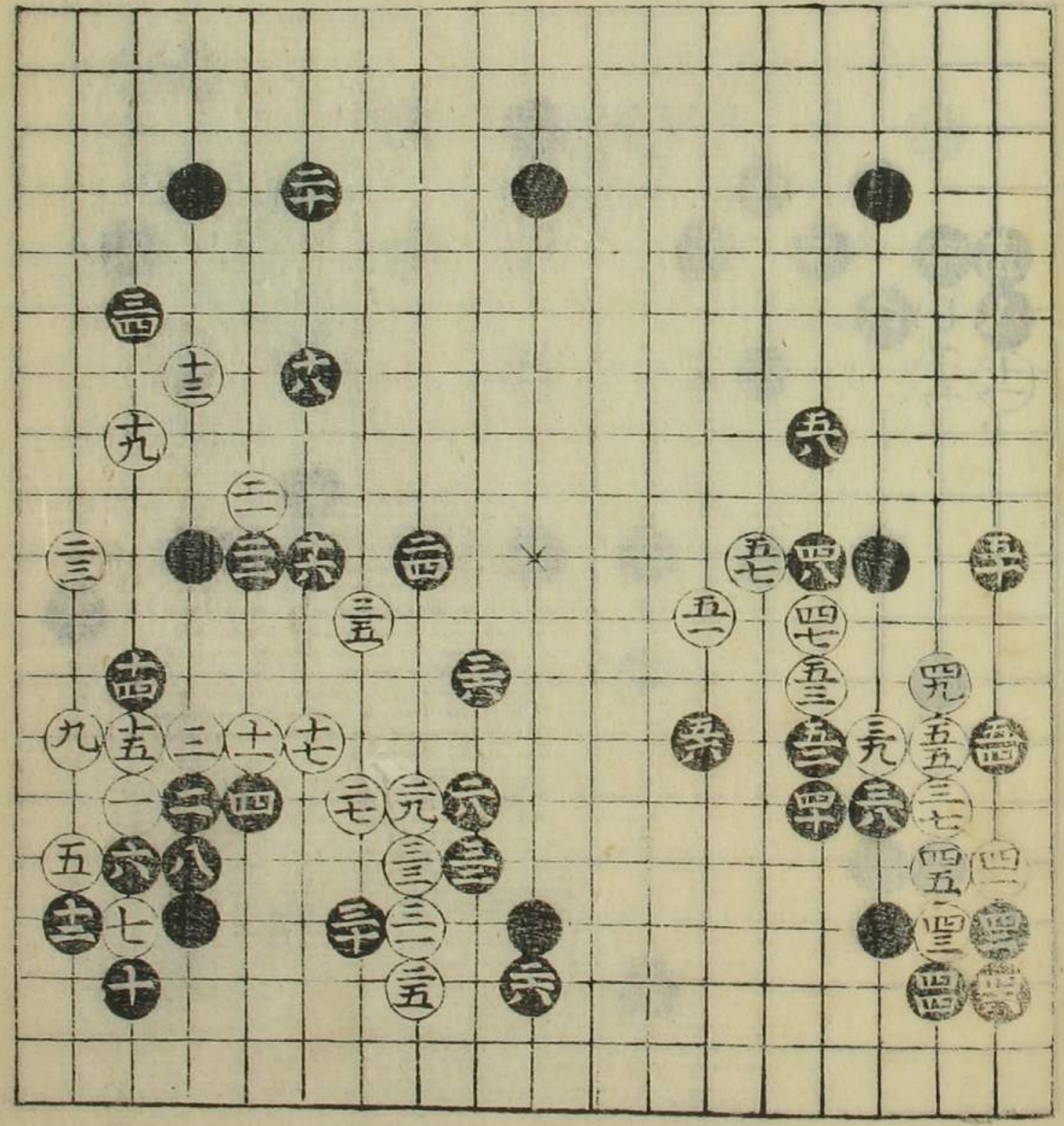
此石立後より
 十八名
 二十名
 三十名
 粘つ



二六し折二八をぬき
 切之折ハ黒大ナキ
 必緒ろくろあり
 二十名

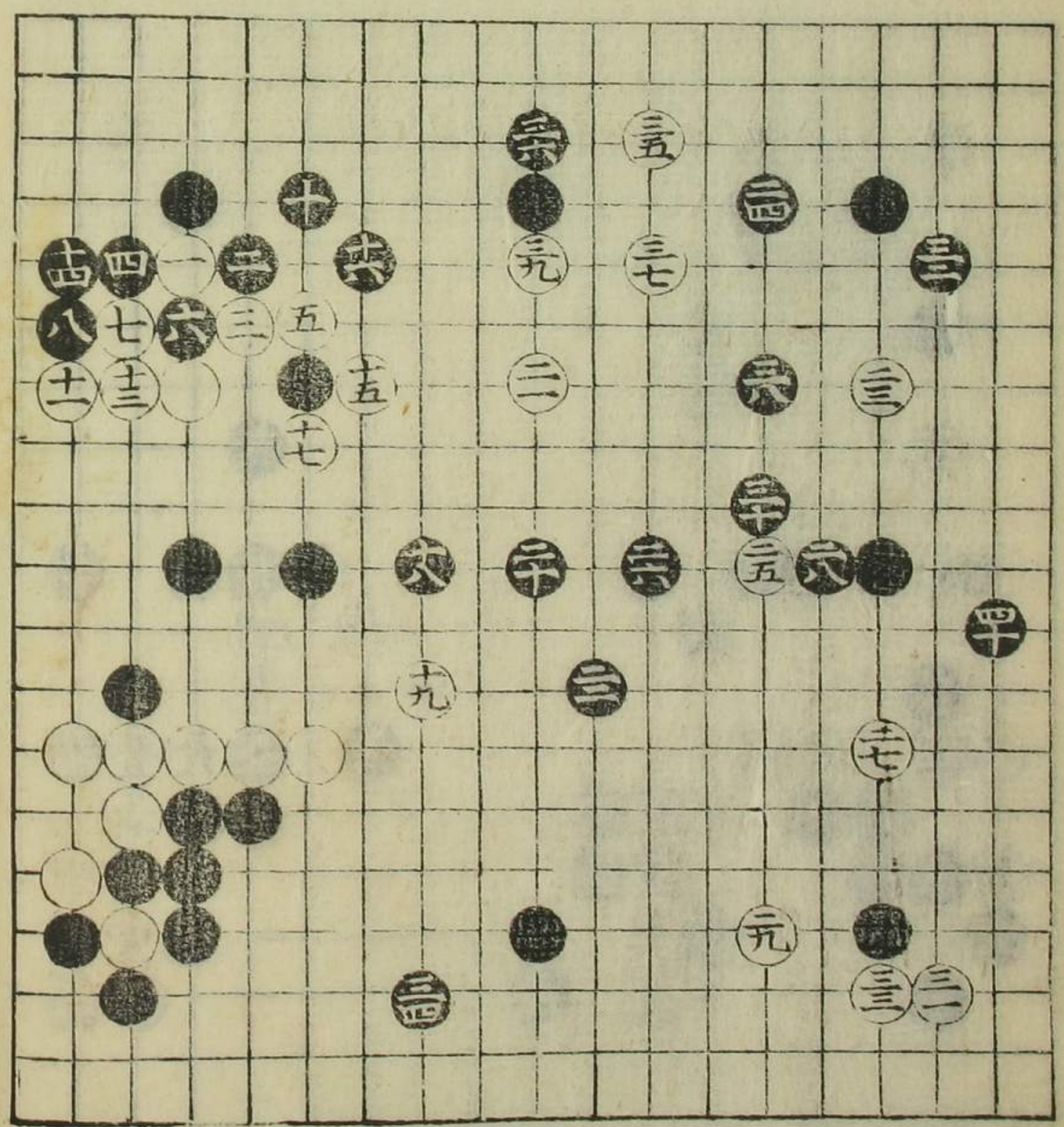


白二九と打時黒五三
 二の処折ハ白黒の三十
 八折打魚ぬ折折者
 白の四九次あり折八四五
 の折出者ハ八切も
 黒も次折ハ折二六の
 折黒五折折五
 十と折く折ハ折依て
 八折ハ折ハ折折の折く
 折折ハ折
 十八名
 二十名
 二十四名

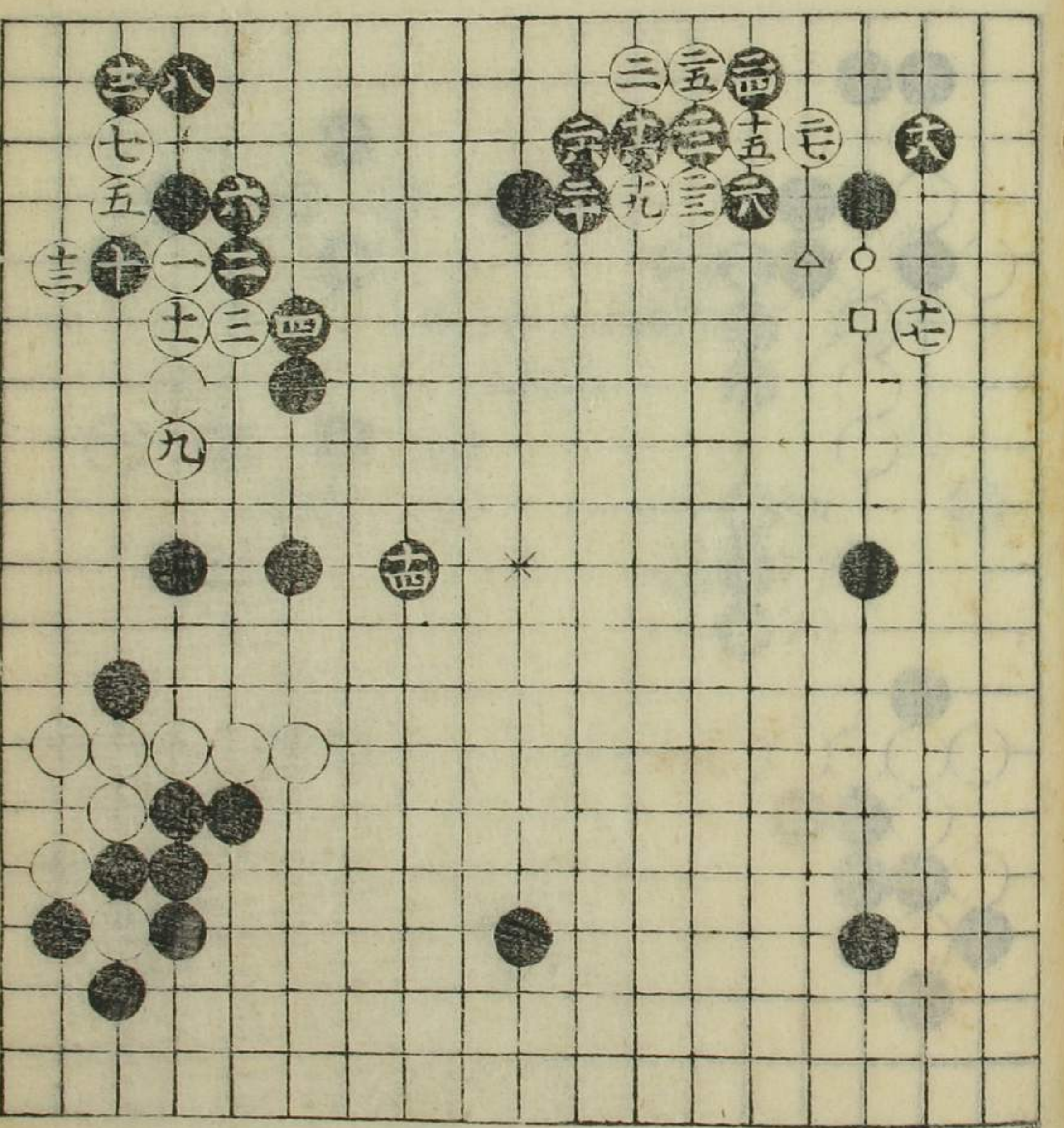


八目置之部

花白十九のあり
 形
 二八は花と記す邊
 沿ふり手三十一
 角を止るは花のあり
 三六ふり手は也
 是ハ右立も花も有
 りあり大位ななり
 必勝れ取之
 九 劫
 三 同
 十六
 二二

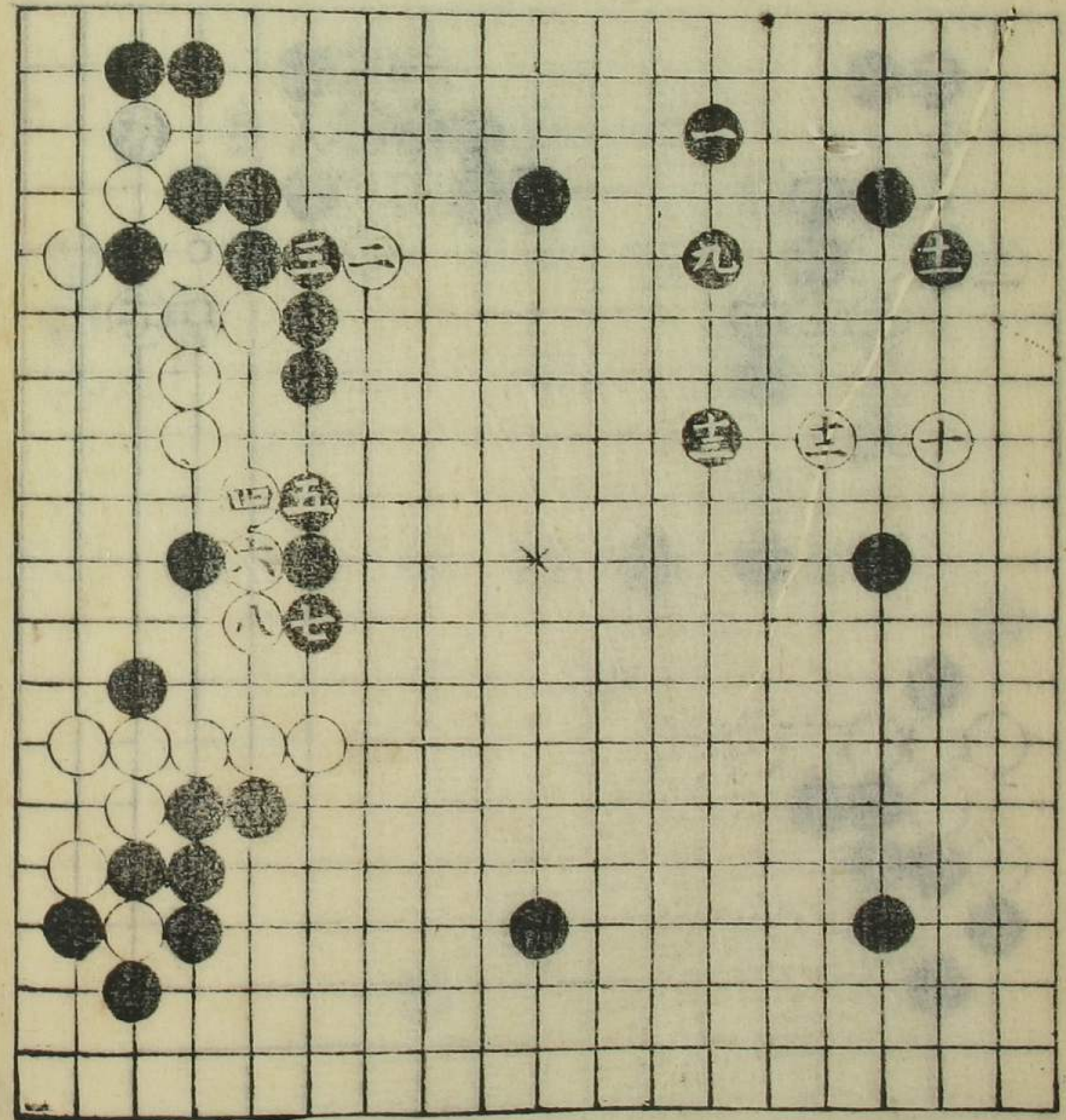


花は黒四の手あり
 形
 十八は手て口下のあり
 て折もすは去世取
 しては白急に△を侵
 て折は○に出入
 切角十九と白折白
 二の時三は折二四
 以て二八の形はよく
 活きよきと云ふは
 けは九に種古はわ
 り石を記すあり心
 併なし黒は右
 勢次り記之

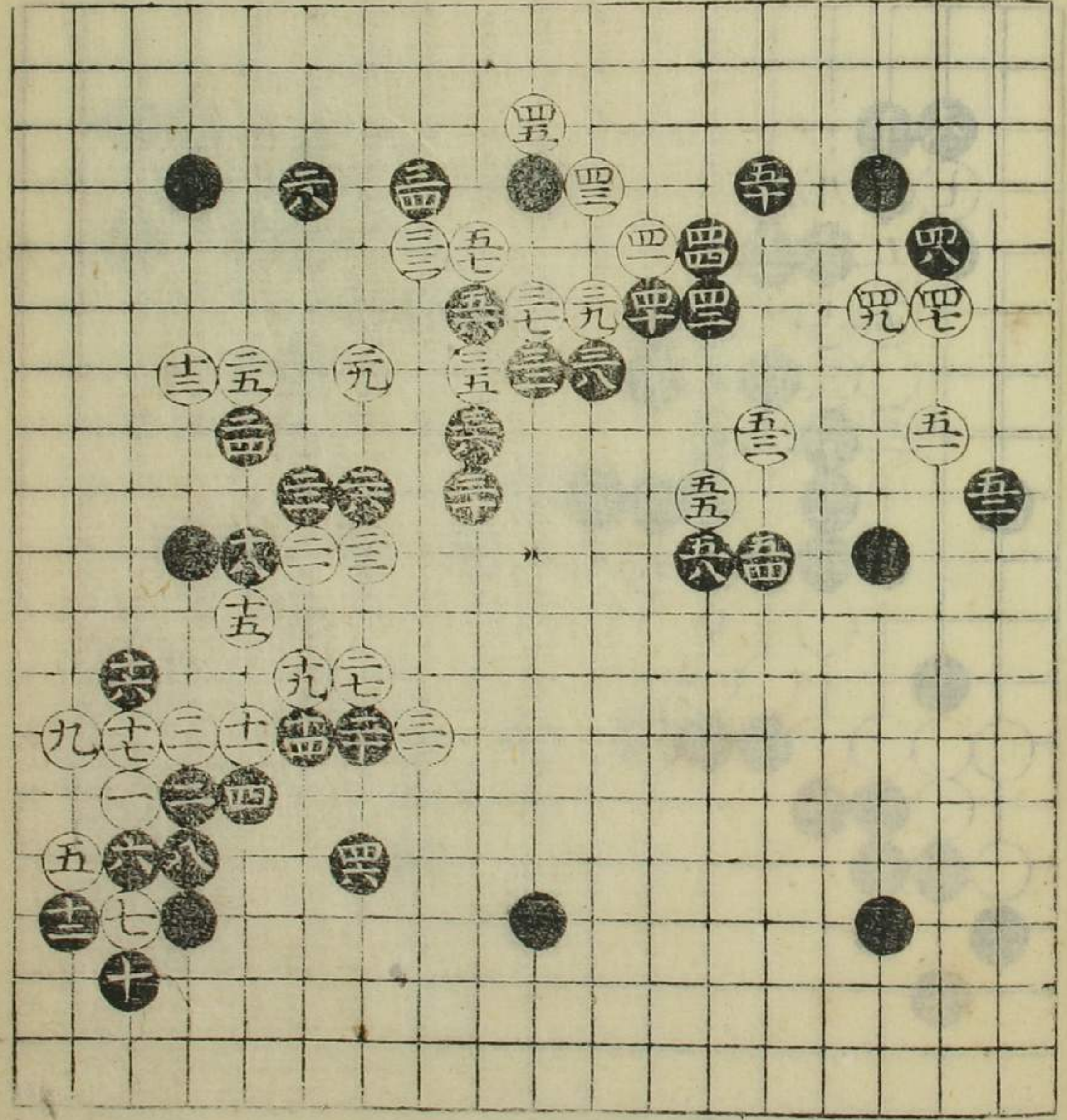


八目置之部

前番黒十四はより
 勢
 一とぬ此勢を打ては
 九の石を去場は十一と
 打十三と打ん持毎な
 る。この筋は人の心
 大位とくは打て石
 直也

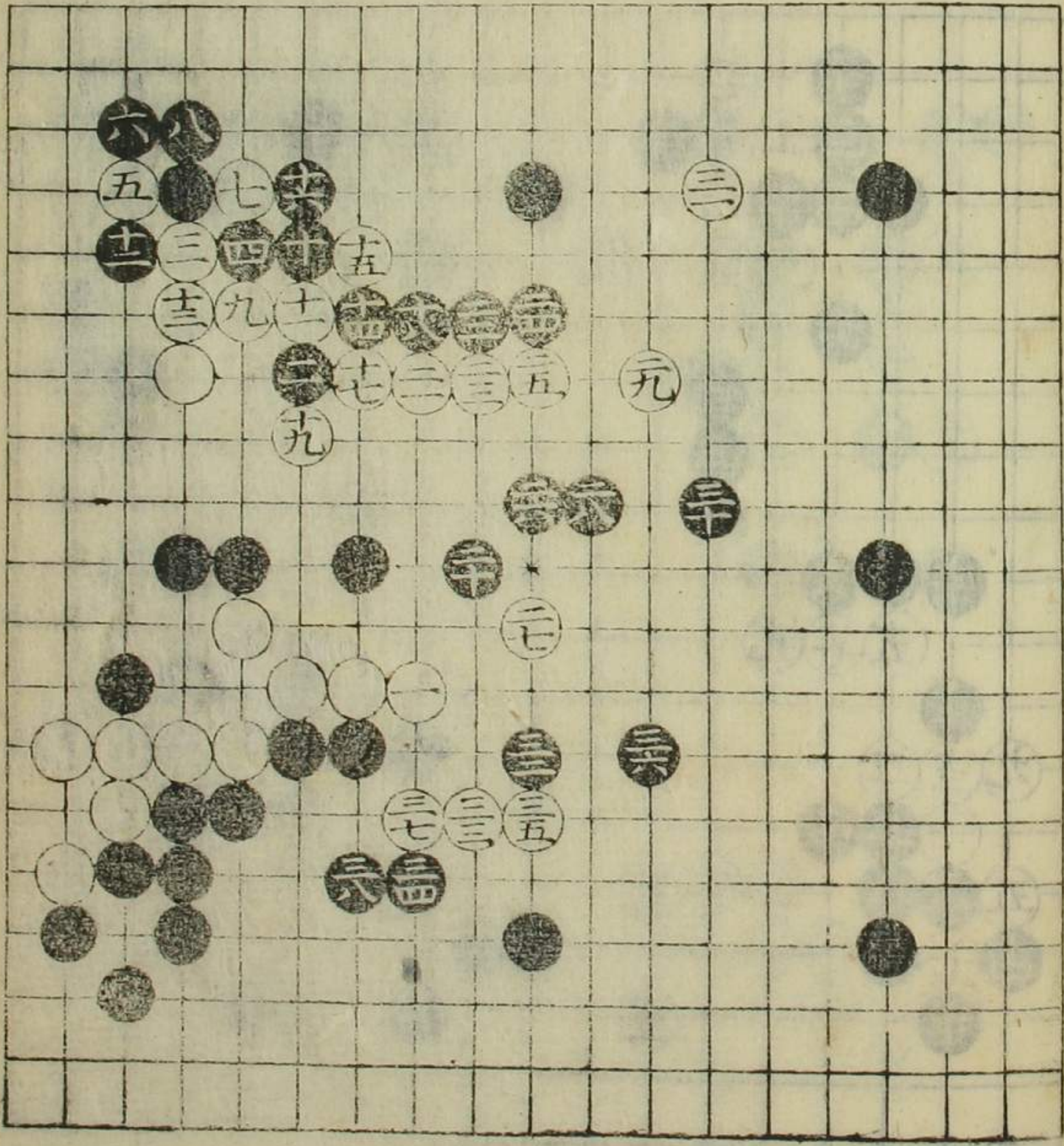


黒三とちの何白切
 八四は打新後白
 より切をゆをし二
 四とかけ次黒あり三
 二番前記はもも
 あり三七の時五五六
 切て八の石を四
 悪し三八の石を九
 合切くお八黒は
 あり九の石を十
 切て八の石を十一
 四六番
 五二番

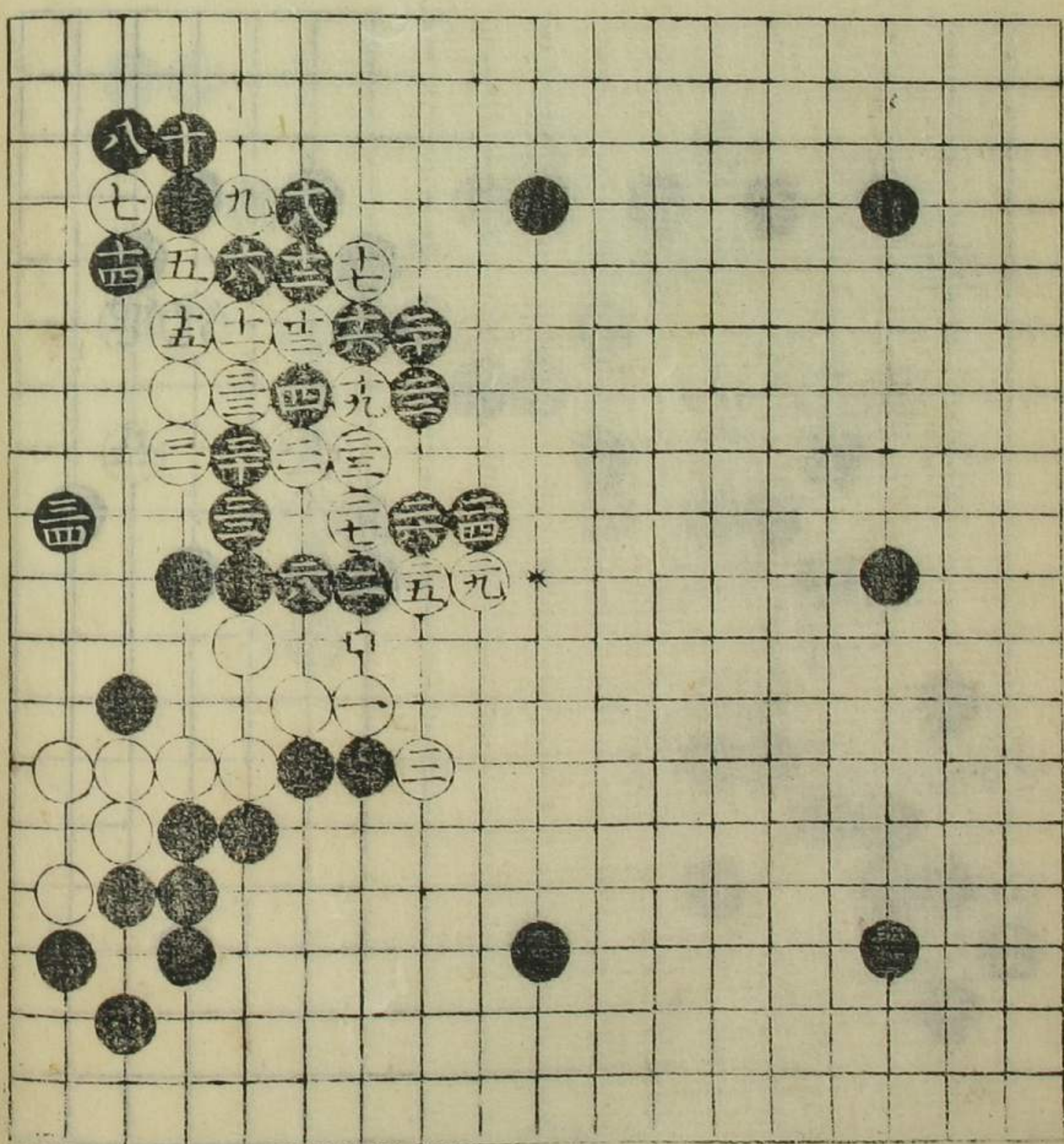


八目置之郷

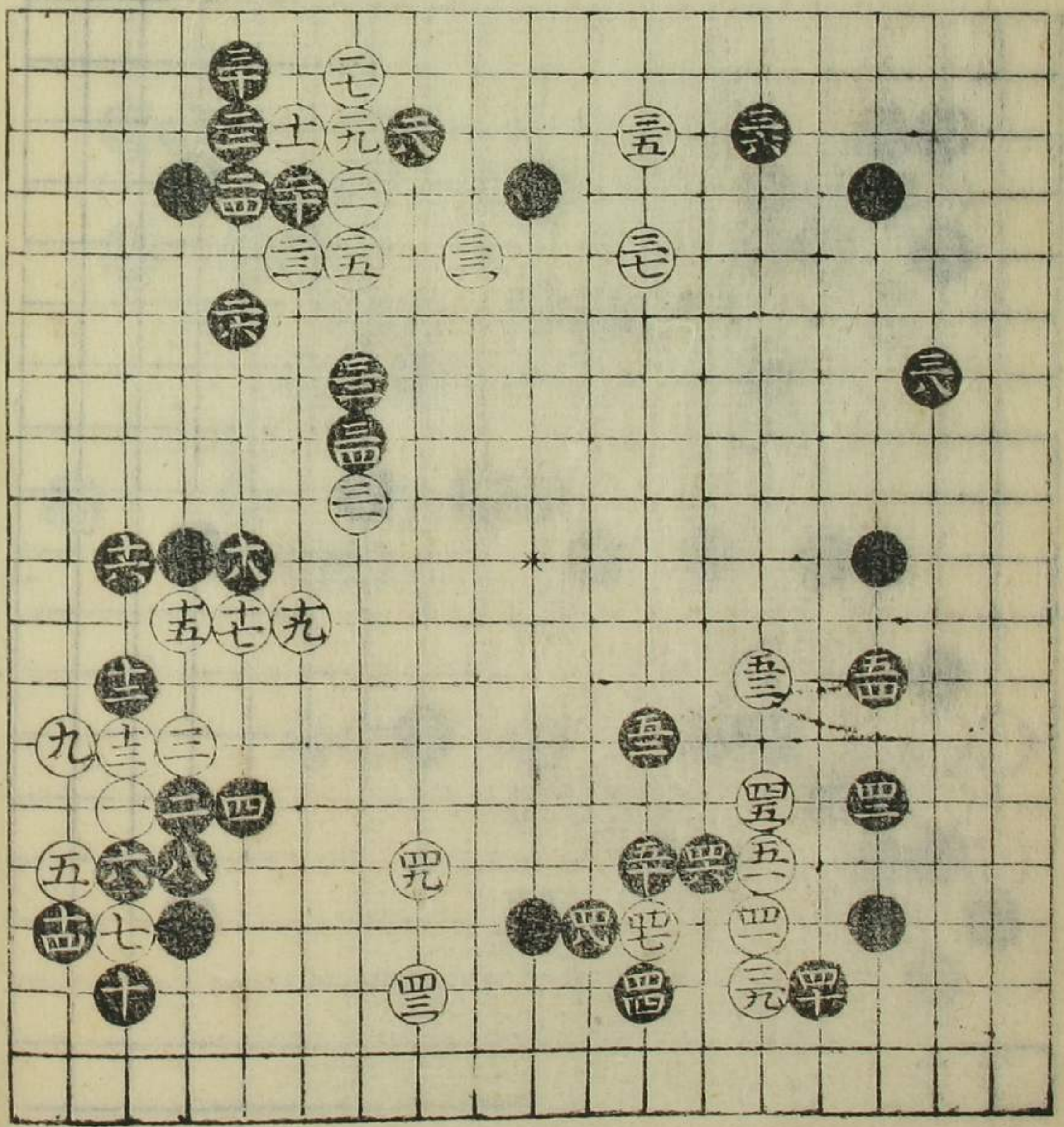
一ともしぢて白抄
 時八二十と危抄く如
 形ありても必し終
 るべき石とて白五れ
 所前の海り六れ高
 舌んゆ足へし切くハ
 面白くは終る後の取
 かり



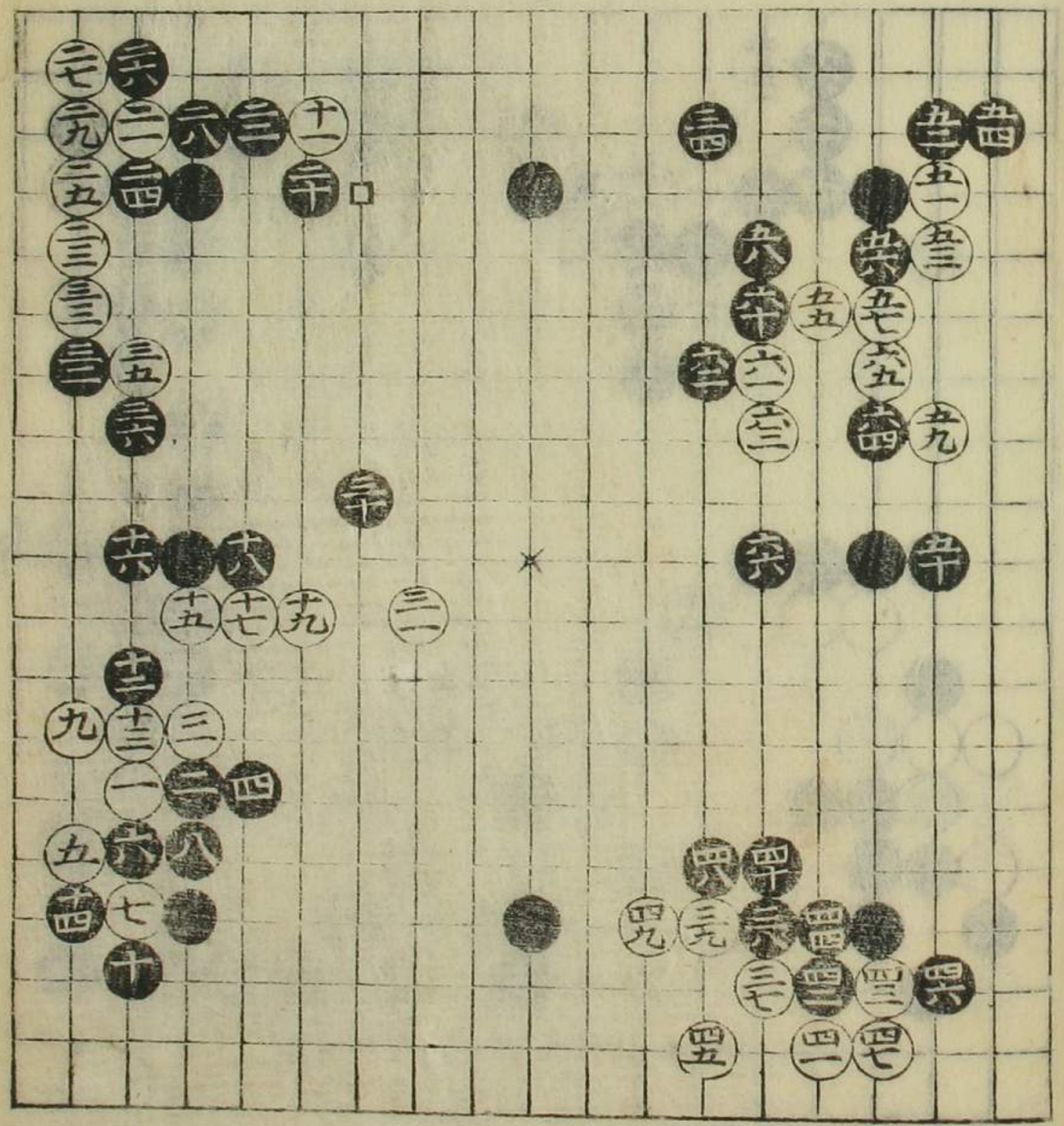
前圖白二のよと中
 勢り
 白二九のよとて口下
 へは突くても黒責
 合しぬをありても
 白死中押の敢あり
 勢り八と記之
 四吉
 八吉



二八と折三十と下りるは四
 毎夜あそびとんゆし
 二六と折二九の亦を切
 二七の亦を切れば如
 折れば形ふ折りて
 必勝の取之
 十六右
 五十四右

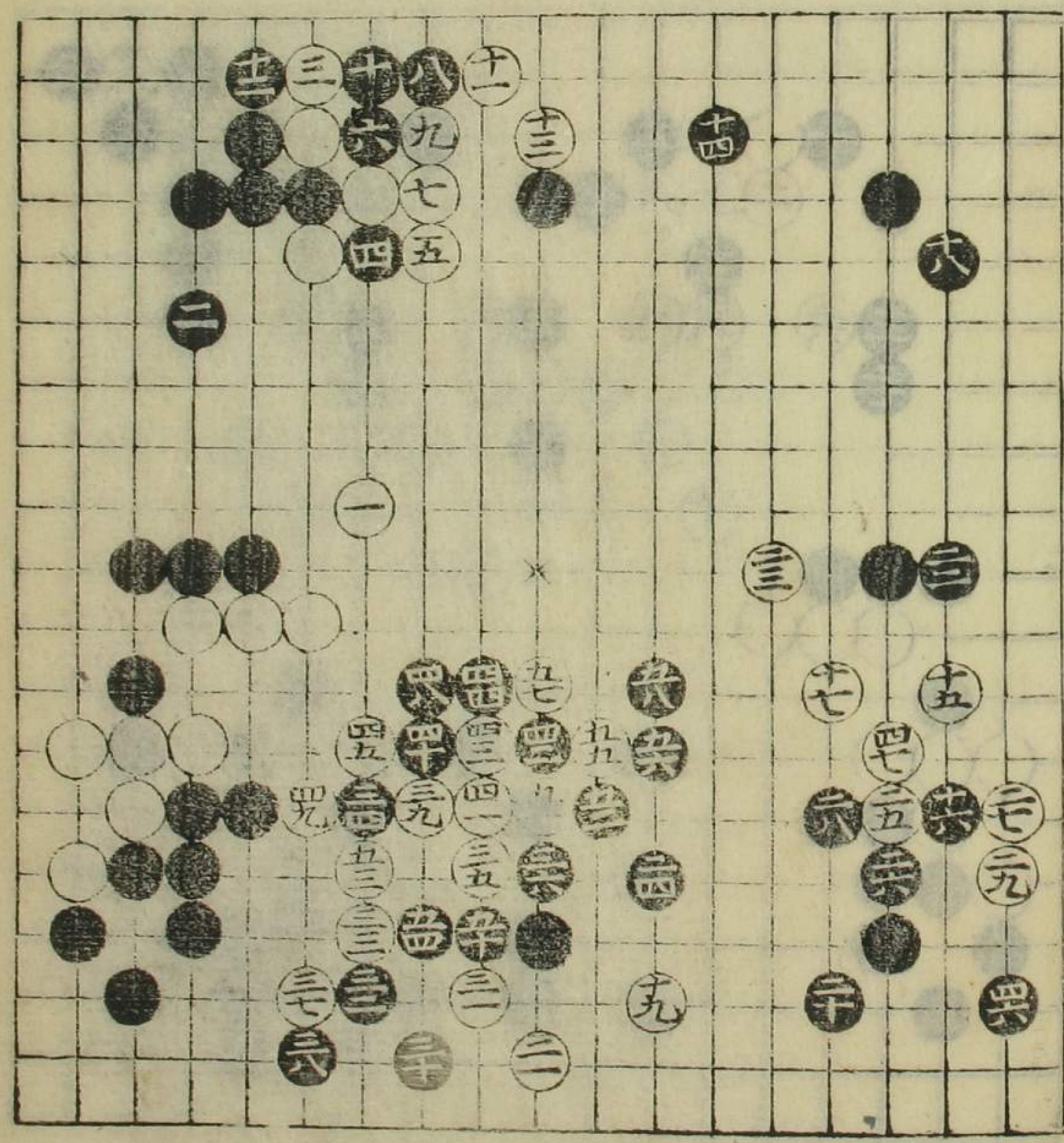


黒の二八時白口下りるは
 公取の通り三の如押さ
 角の形折あそびなれば
 白打二三と折角を折
 せりてあそびなれば
 少と折れあそびなれば
 公の九と五六五六
 石立あそびなれば
 取之必勝の取之
 三十右
 五十右
 六六右

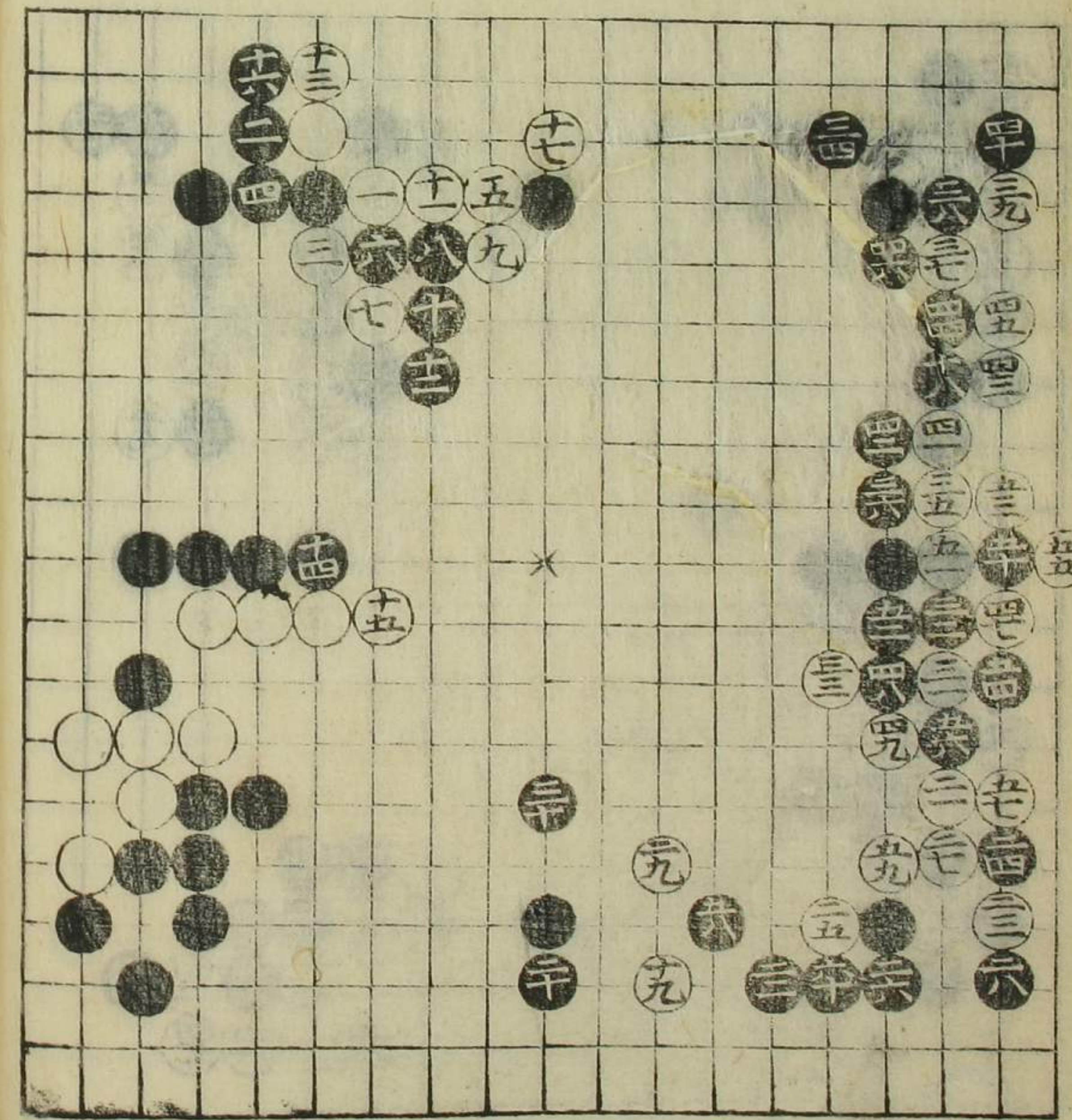


八目置之

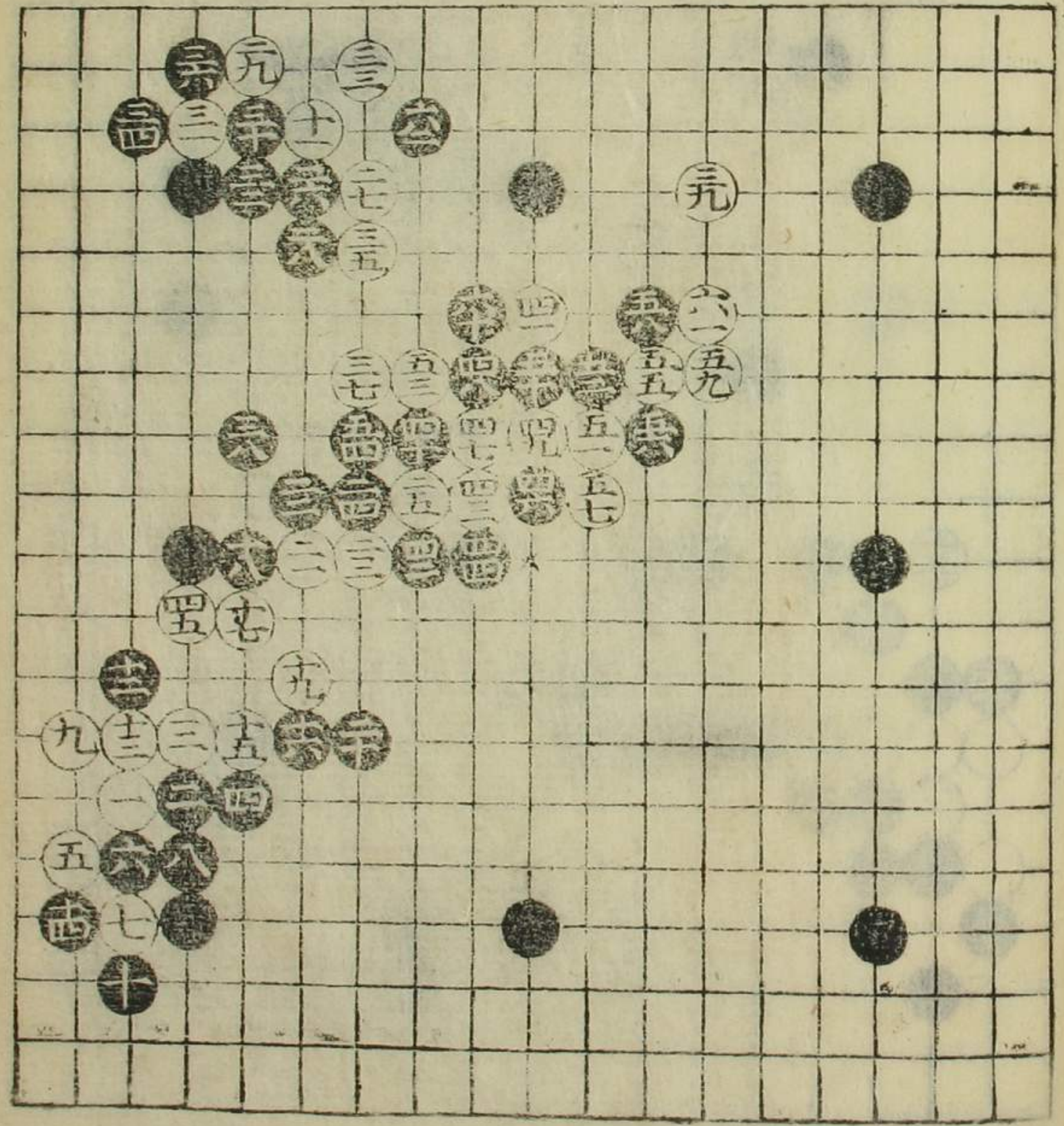
若墨白五枚より
 移る
 妙気ありても一向落
 ず四二枚を後者半
 能く之れ此後移りてハ
 黒必勝の形之移り次
 小あらび
 移り次り記之
 八番
 十八番
 二二番



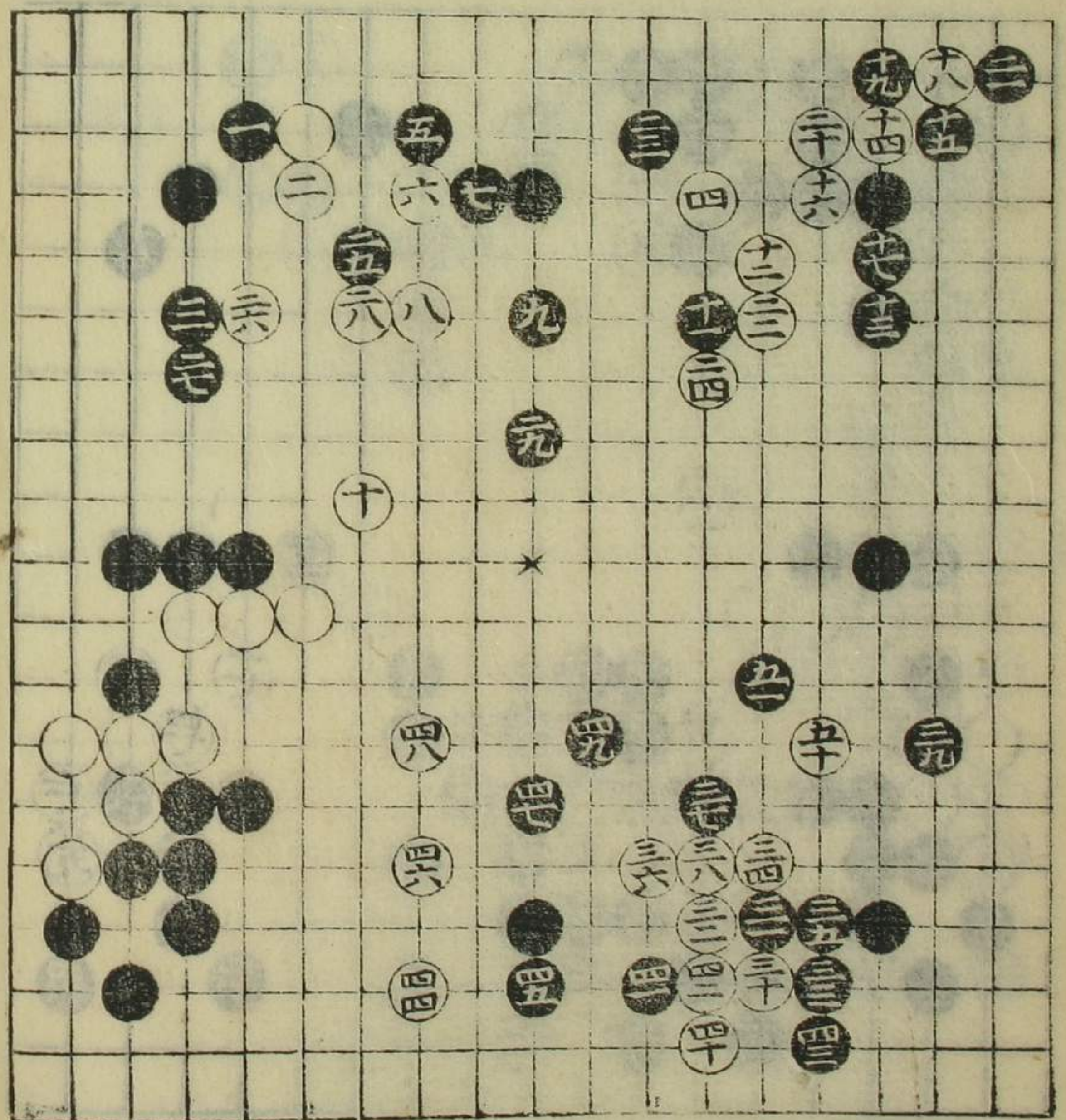
若墨白二枚より
 移る
 黒十六の手に七十七は
 へりとも右に去十四の
 押も右に去厚く此
 方より移り白下へ此
 てハいふより移りて
 身代りも此之必勝の形
 本あり
 二十番



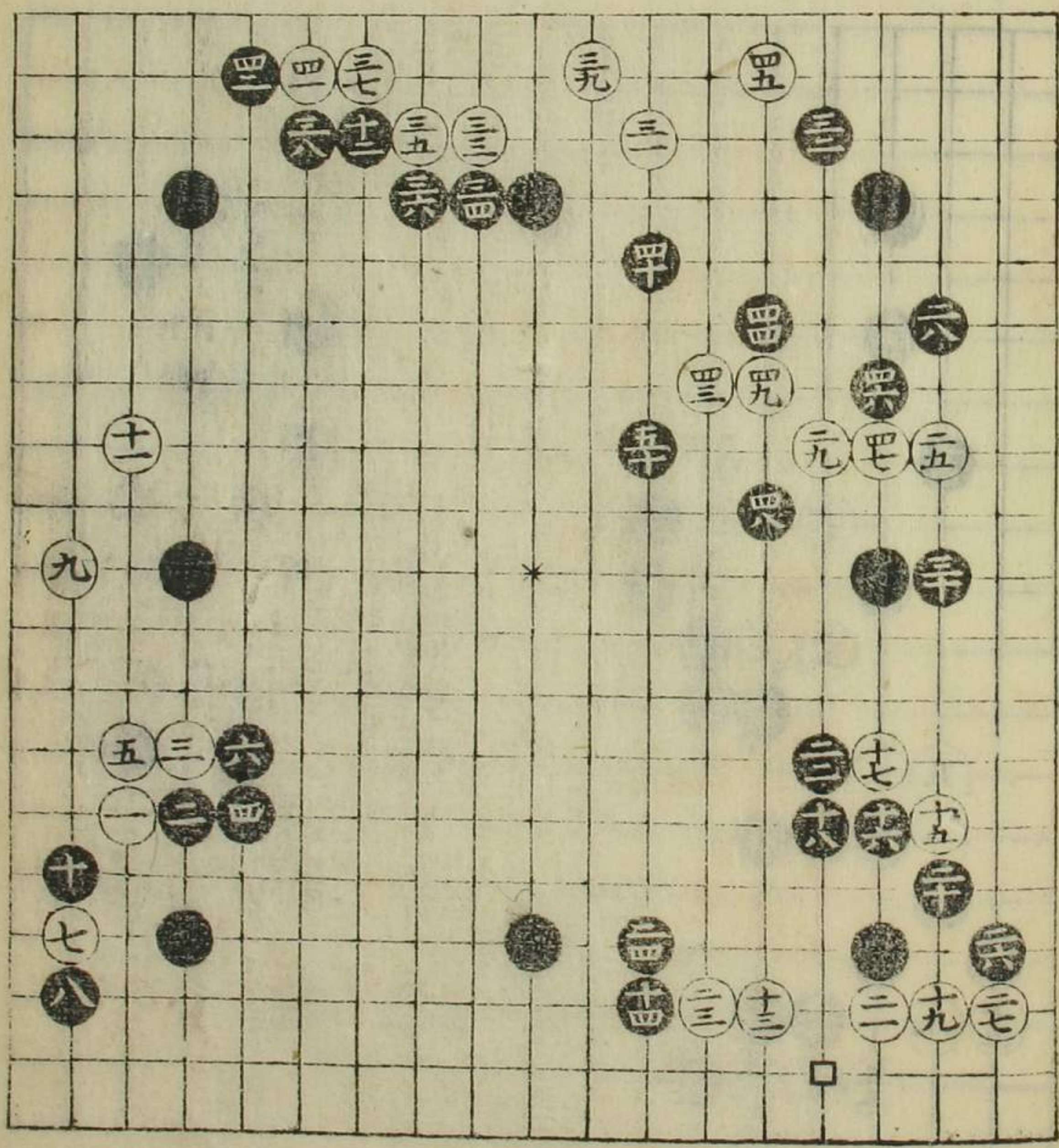
白四を埋なりぬ是
成て八中押の取あり
勢り次より一とす
二六右
三八右



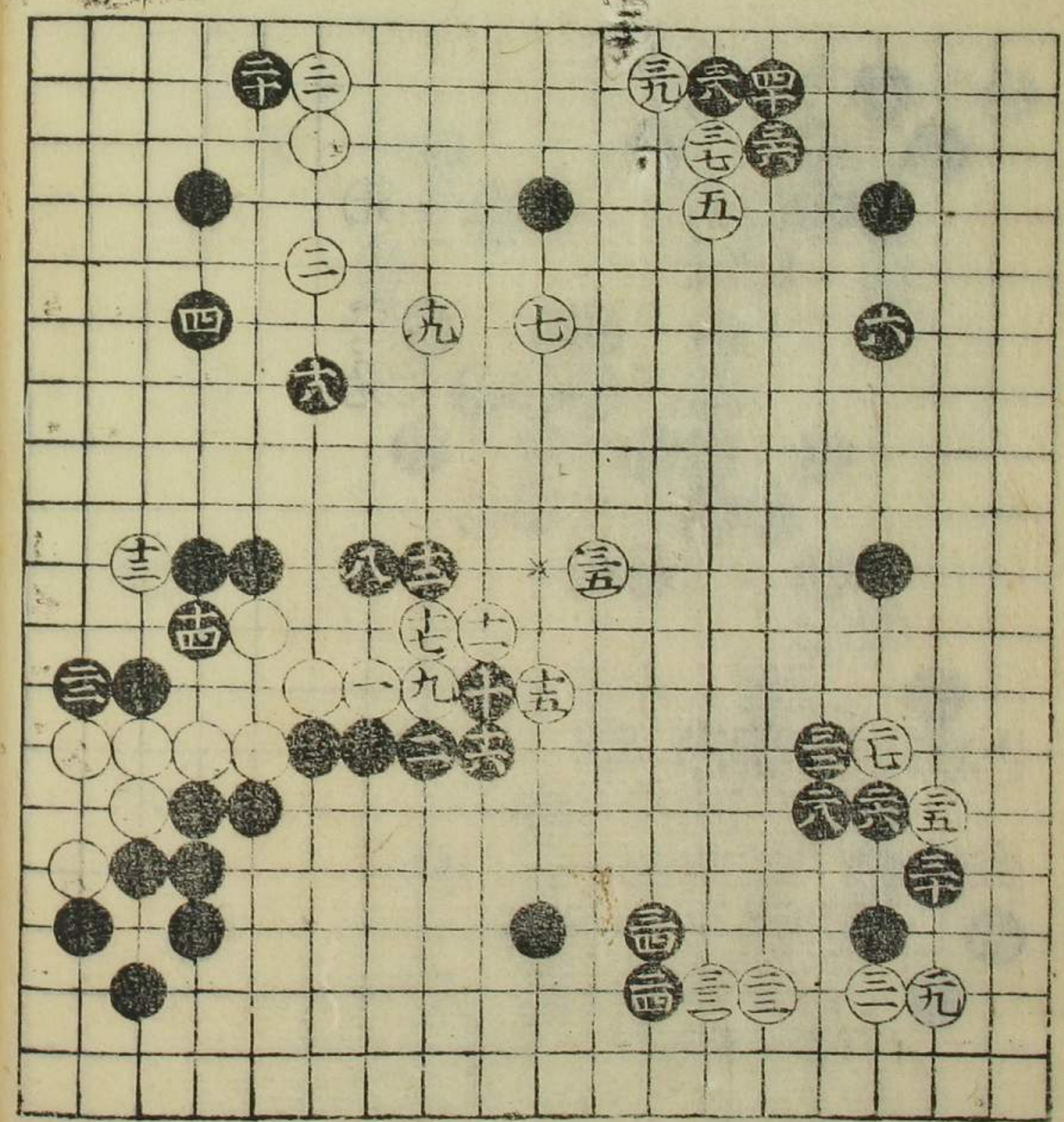
本墨黒二十以上あり
勢り
白二の附せく二三と
如新打者二九も活
るこも物之ふゆ是
へし白四十打け決り
身附流注け決り
ぬ毛打者必勝の取
あり
十三右



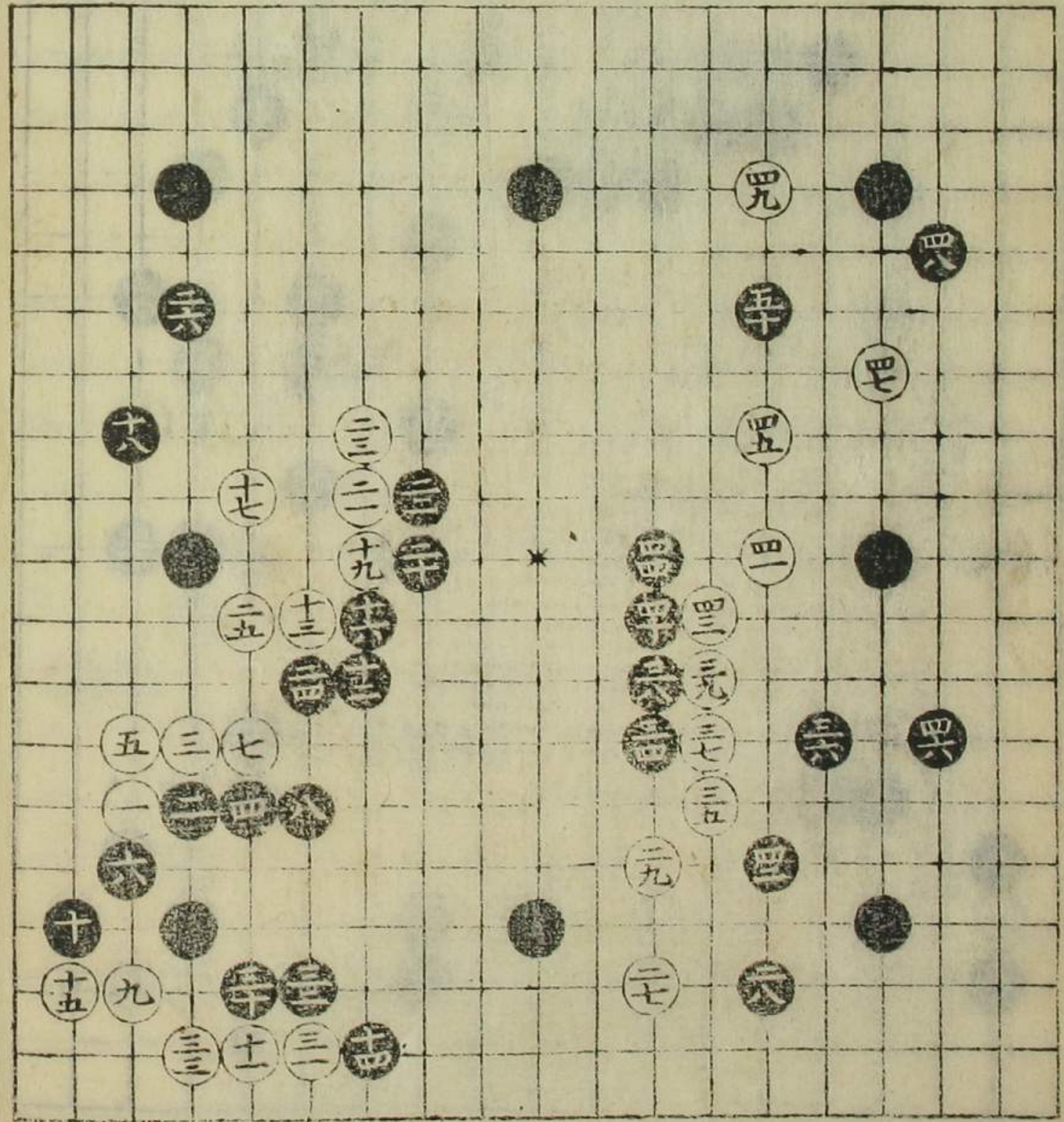
白三と赤三の時口の
 ぶきおしおまぬお
 あり四六軍くさるも
 筋多しり三十と堅
 くはる四六面か
 四八番五とわけてハ
 必勝の取なり
 十番
 二二番
 三十番



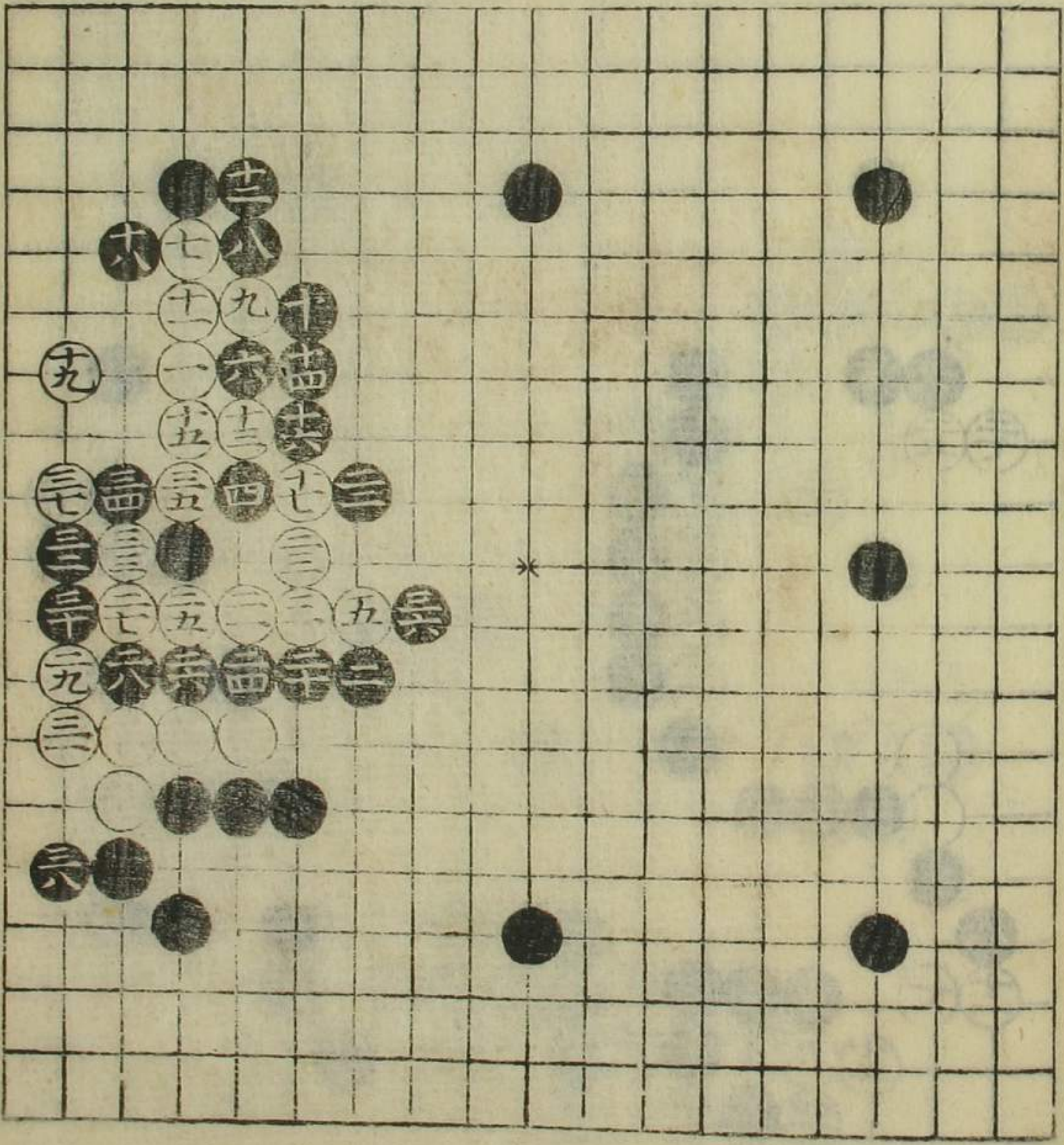
若星白二はより
 せし
 黒十と赤白十一と赤
 せ十二と赤も筋太
 右開くさるめさる
 し糸位能也三六と
 抄木目の石を換く
 抄りし筋もさる向
 必勝の二くちなり
 二四番
 三二番



四八と堅方五十とぬき
 方附二の向跡なき子
 筋之んゆえし必指
 の形之勢より決り紀を
 十四有
 二六有
 三六有
 四六有

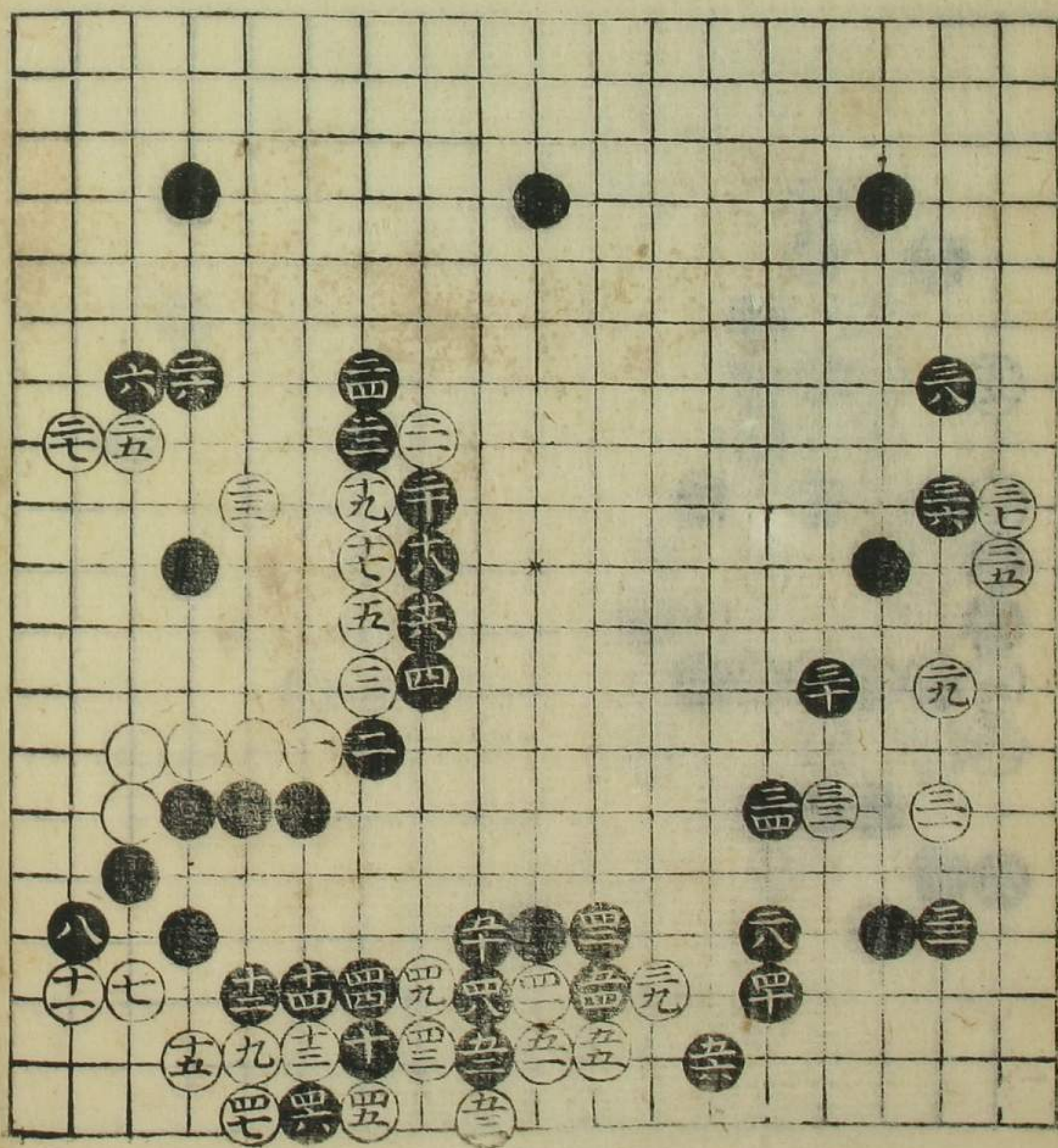


花墨白九けより
 勢り
 ぬきをりて白銀向
 かし必勝之勢決り
 記之
 十八有

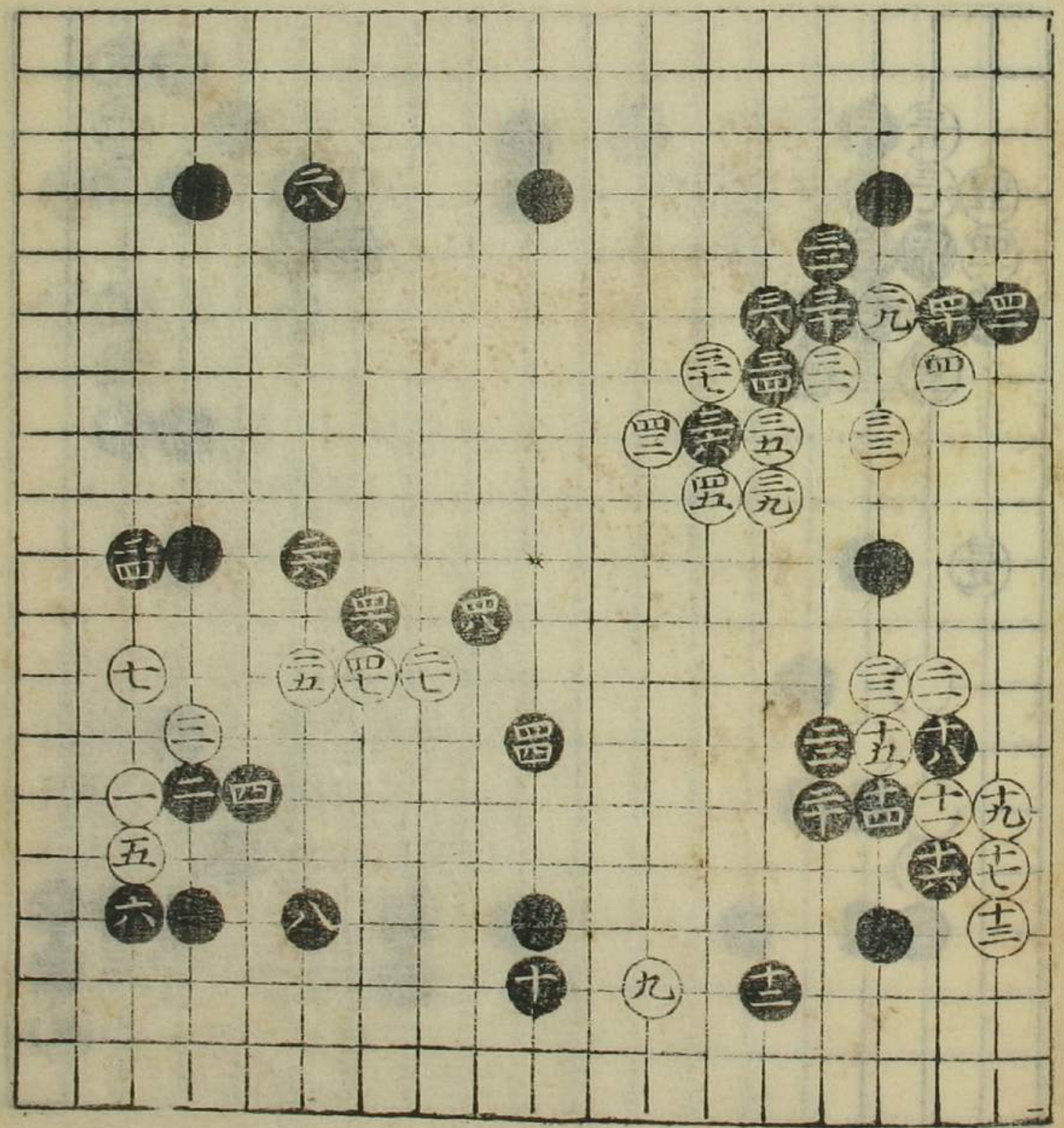


八目置之部

若墨白のともり
 勢り
 此石十六より二十迄
 押く打者ぬ白下
 を打やうふかて八段
 向をし必勝の形也



十八と切二十と打るは
 月多しふふとくもぬく
 打たうし後石重さ加
 三十と打てれぬく
 打て者必勝の形也
 勢り次よ記し
 八石
 十石
 十四石
 二十八石

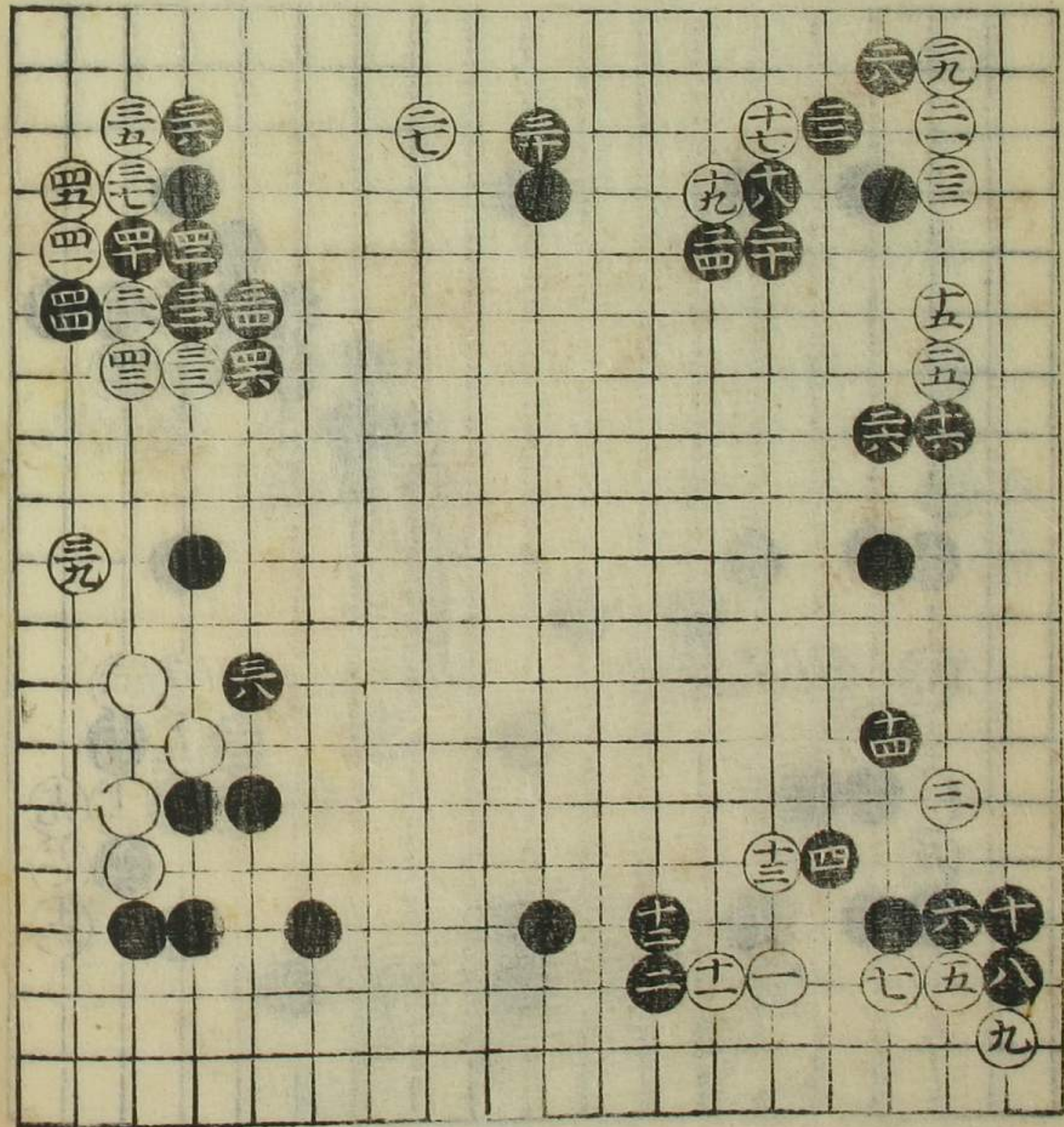


八月置之部

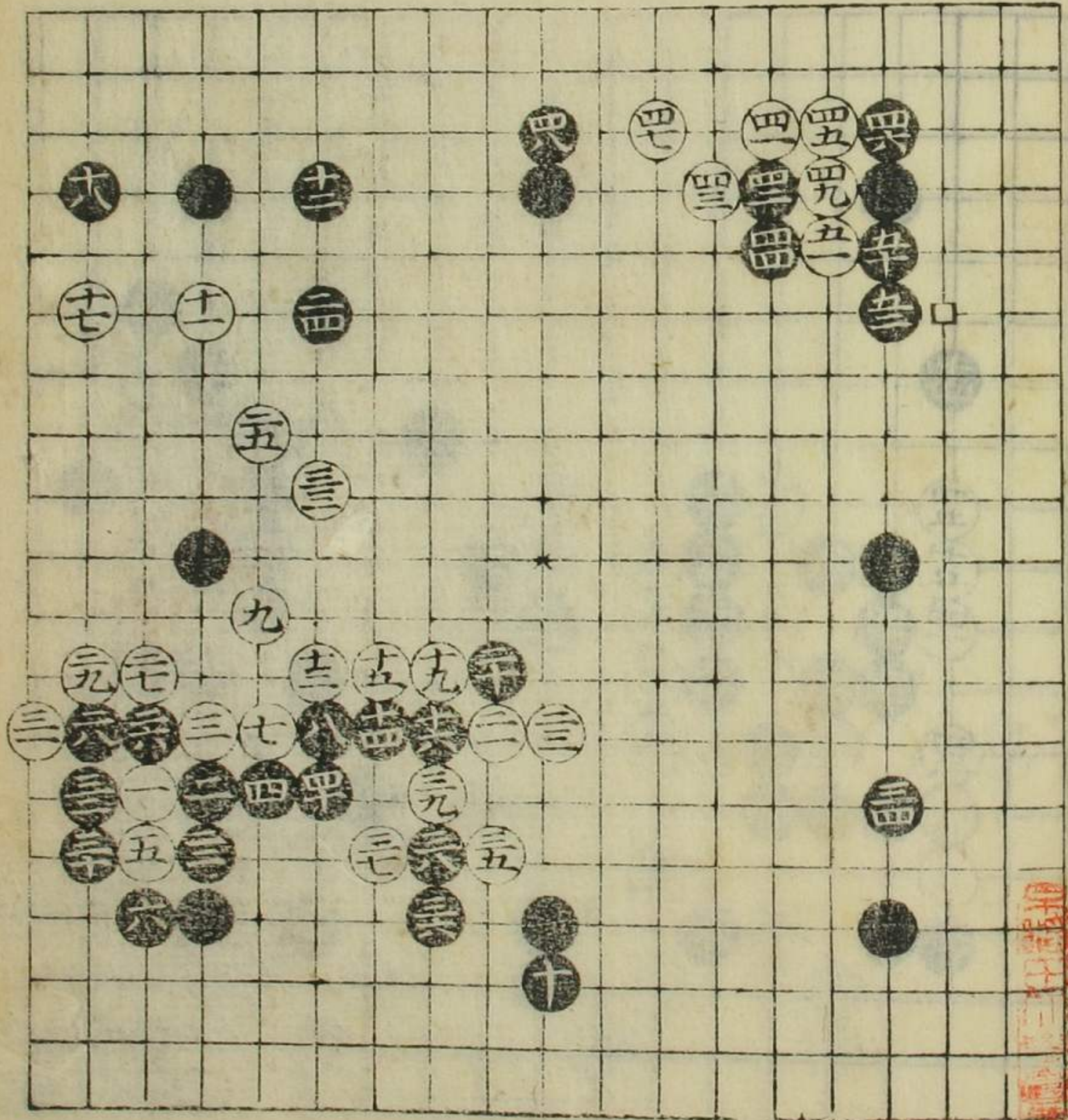
二

三

落墨白九はをり
 勢り
 四の石はめ何れを
 八ともて折三石を
 取て折八はくして石
 石重き原種く石
 を記し形を考へん
 へし二四三十は折
 落を石の形也
 十九石



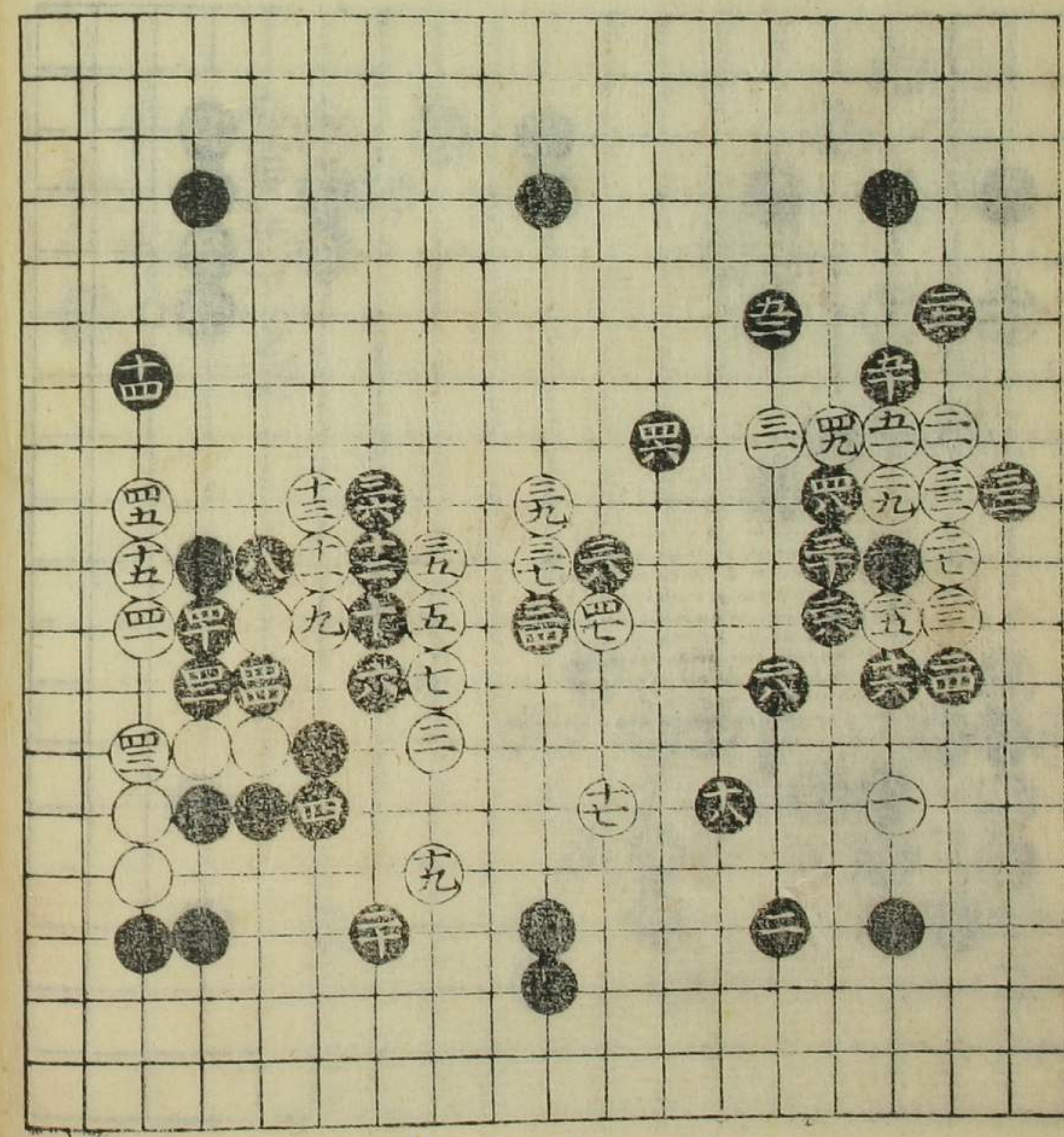
二の折れ時三石二五と
 折せ二六切と取とし
 石均足し白四七は
 少くも四九と出で次
 大黒口下は小桂る
 小折之四八と折せば
 面はし考へん必
 勝の形之折次は志
 多石
 十石
 三四石



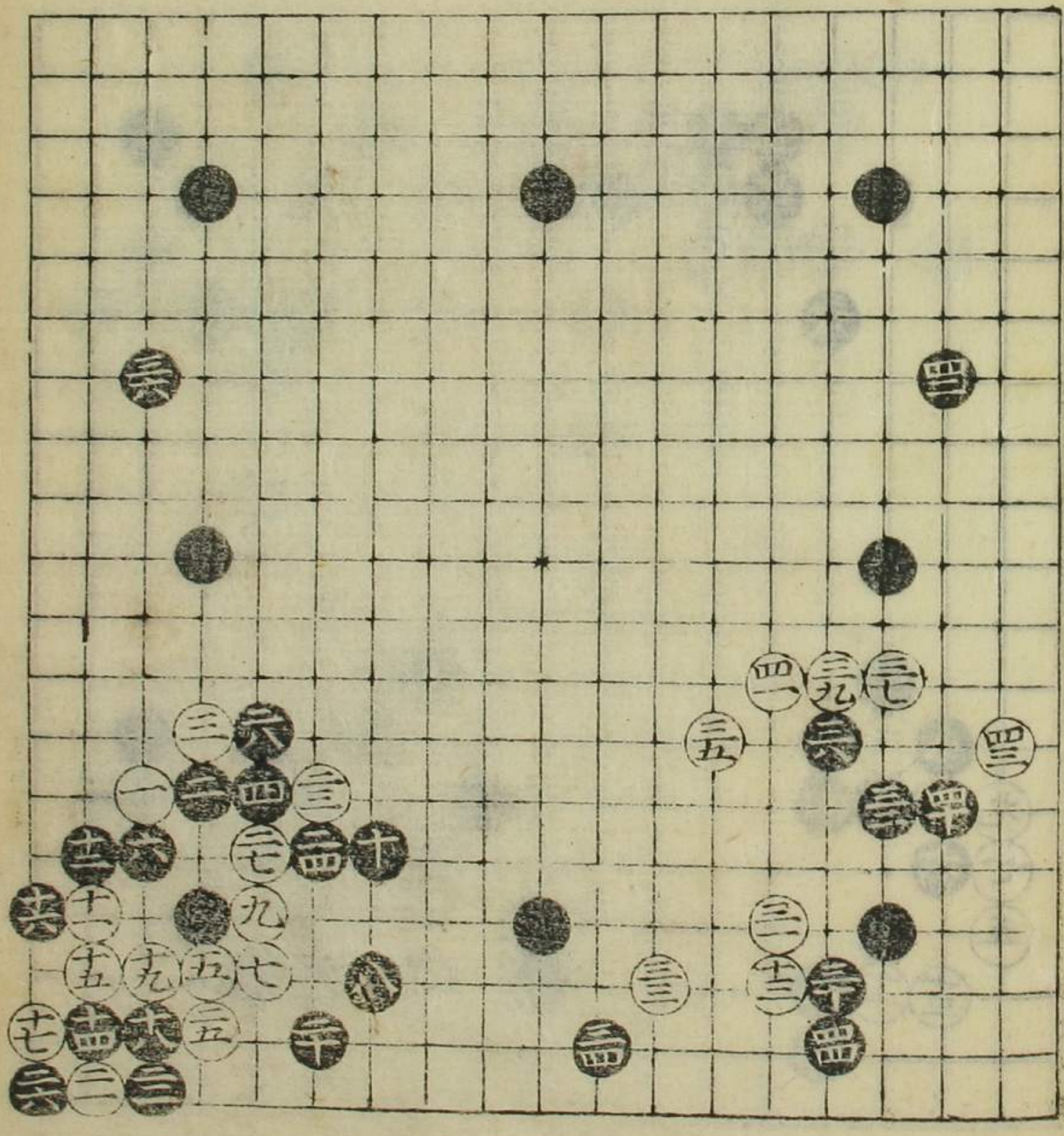
八目置之部



前巻白十一以上より
 六と打入くぬ此打も能
 三四打新三十六と打入能
 切也後並てぬ此打能
 向者考見へし必緒の
 取也
 十六者
 十八者

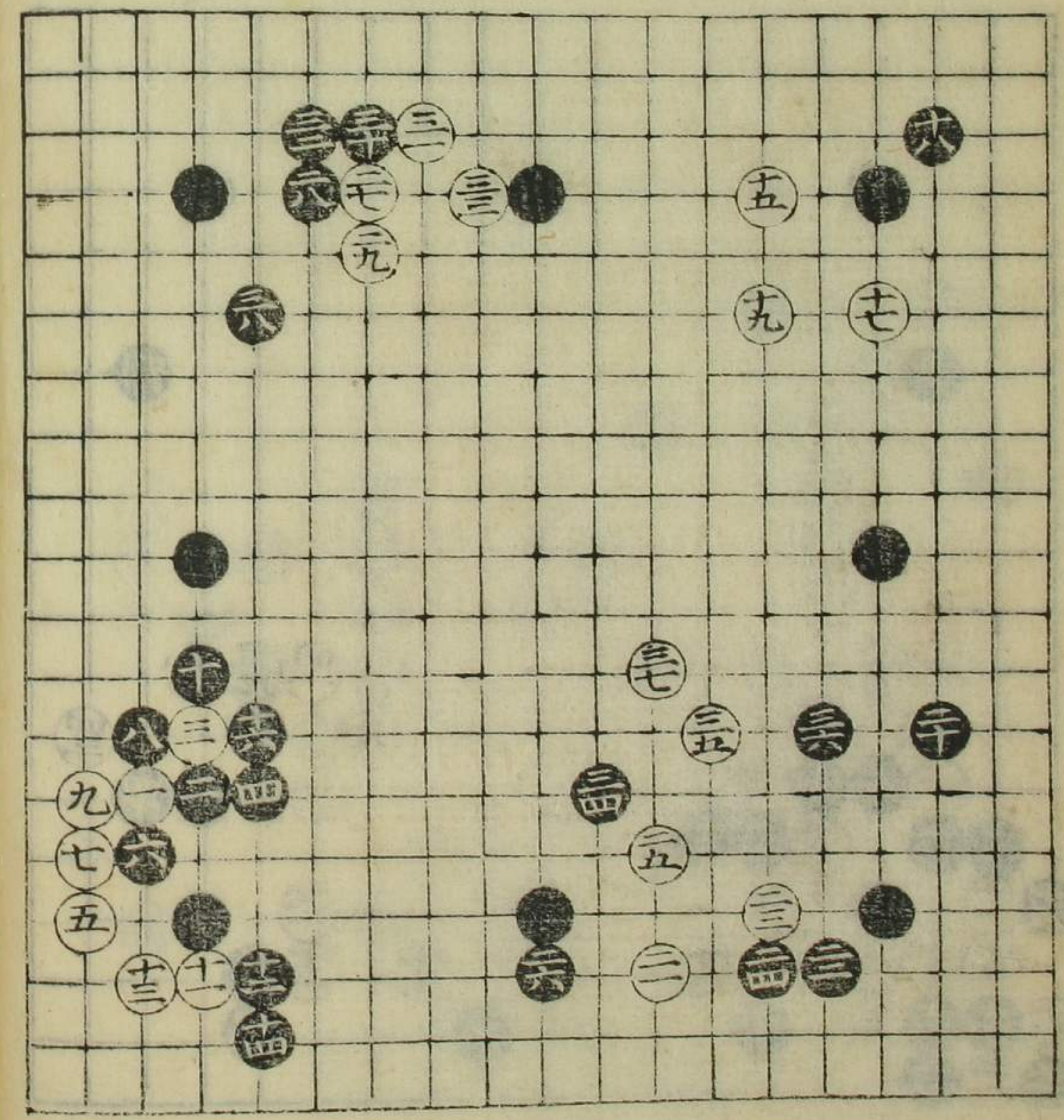


二八のとき次て打も能石
 重取政の趣向能ある
 乃め是沈之んゆえへし
 三八の能名置趣向か
 先を取すゆへ面を
 考へて之し必緒の取
 八者
 十者
 三二者
 三四者
 四十者
 ⑨劫とす

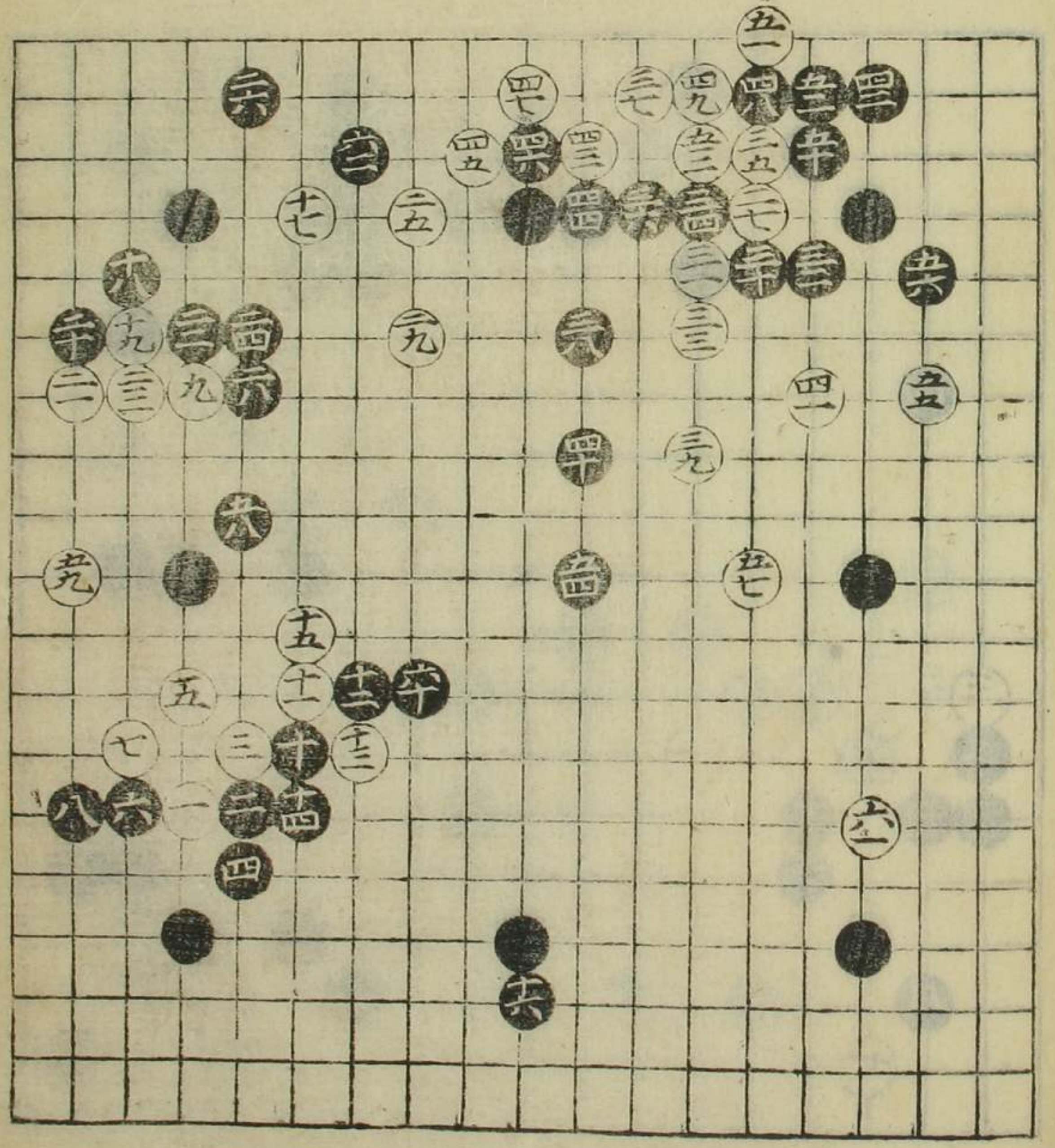


八目置之部

白五とぬり方八悪き
 ありと黒れあや
 ありとむこめた二
 九の三三二もて
 白折ハ者れととへ
 出く折ハ者名五黒大
 月者必勝のれあり
 十八者
 三五者

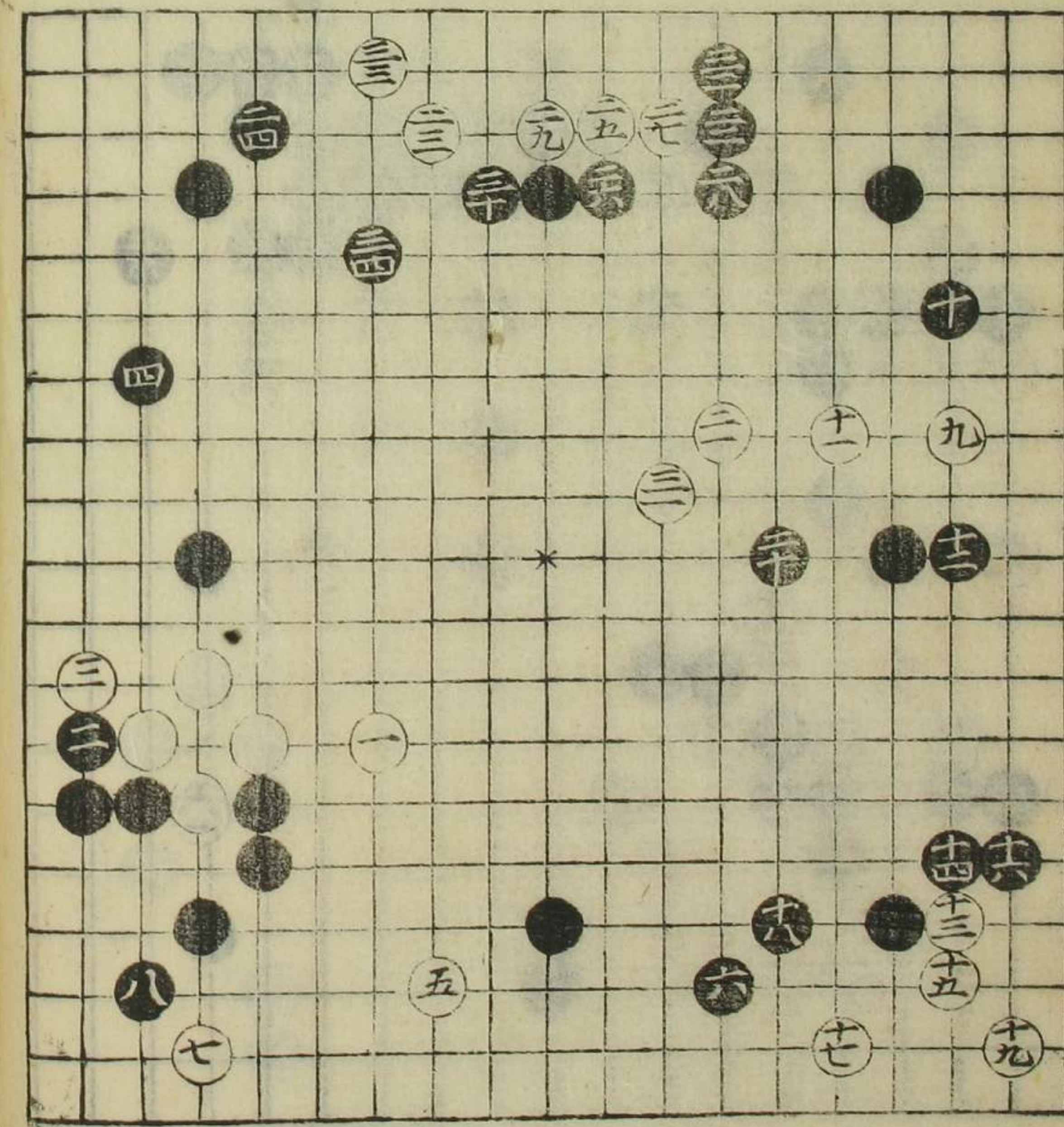


ぬり石重さぬ二打
 ぬりありても黒堅く
 ありて白十九の時二
 十三と悪きも
 ありと此れありと
 ありとありと三三
 ありと白三六折ハ六
 のありとありとあり
 何れありともは必勝
 此形之勢次あり
 十六者
 二六者
 三六者
 四二者
 六二者

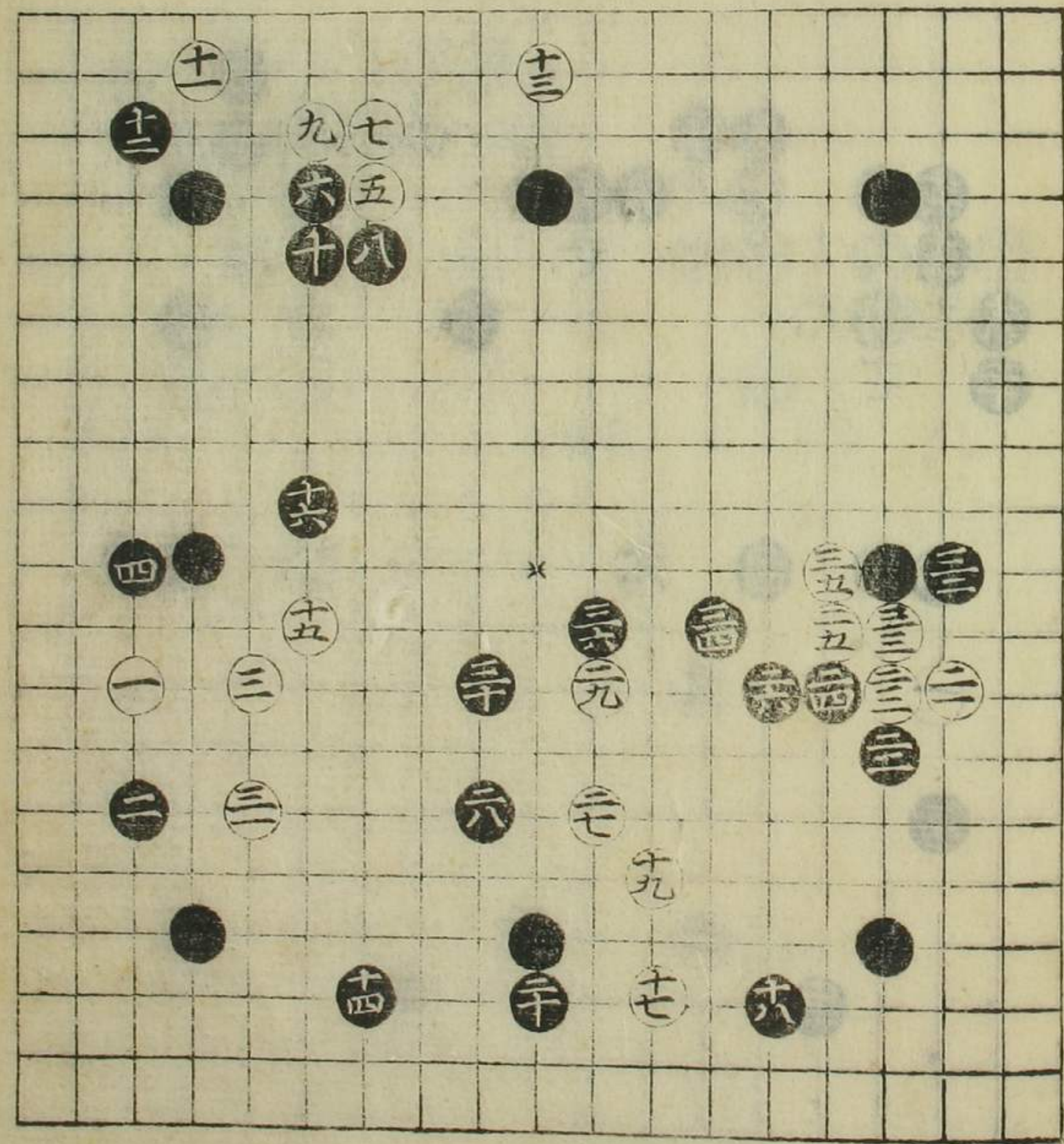


八目置之部

若くは白九はより
 移り
 如く移ると黒大
 するは必勝の取也
 十四石
 十六石
 二十石
 三十石
 三十二石

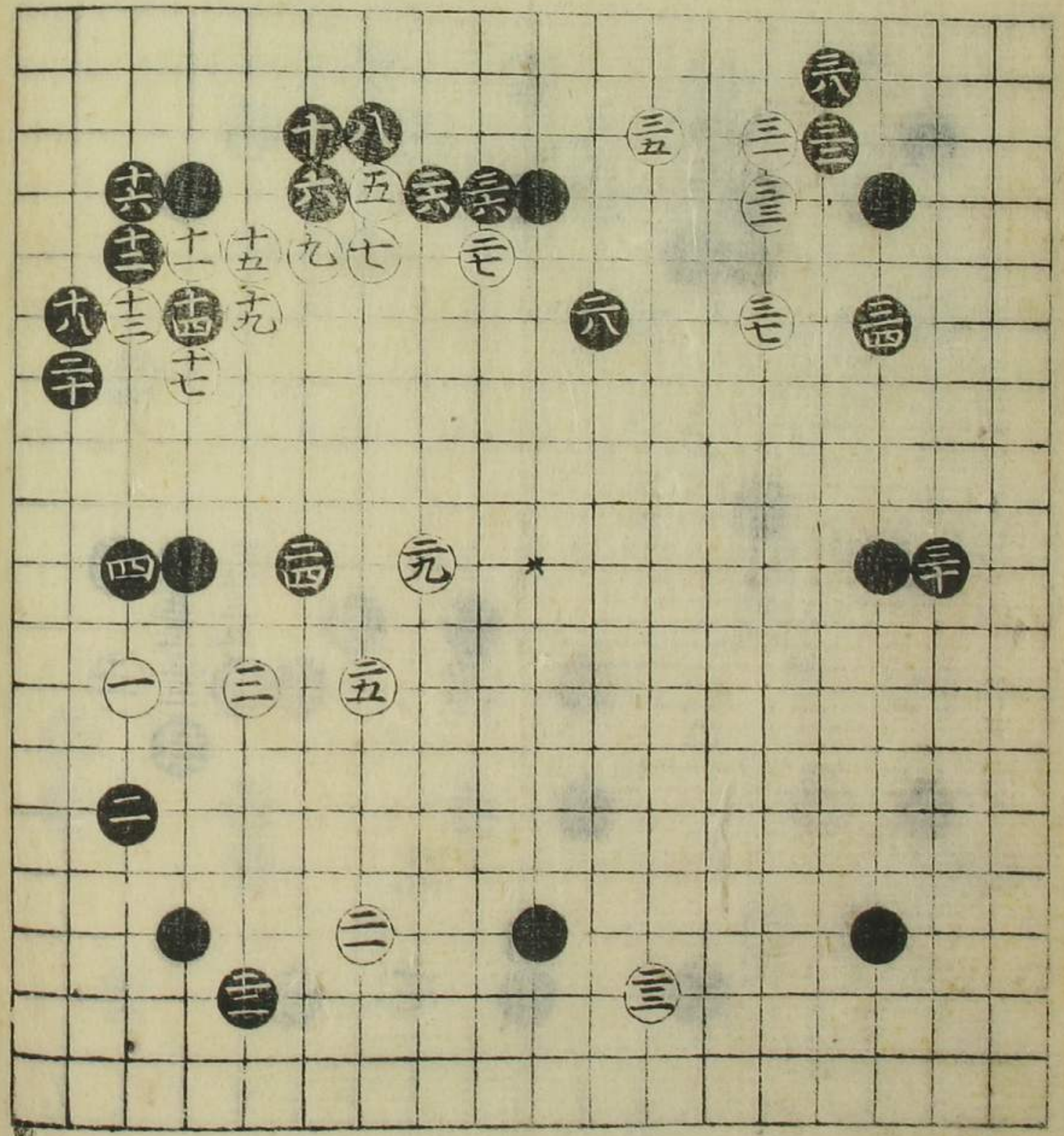


白十九石は黒三石
 を取別面とし三三と
 歩白次時三四と如く
 打た右の白を留て
 打ハ黒大するは必
 足し必勝の形あり
 十六石

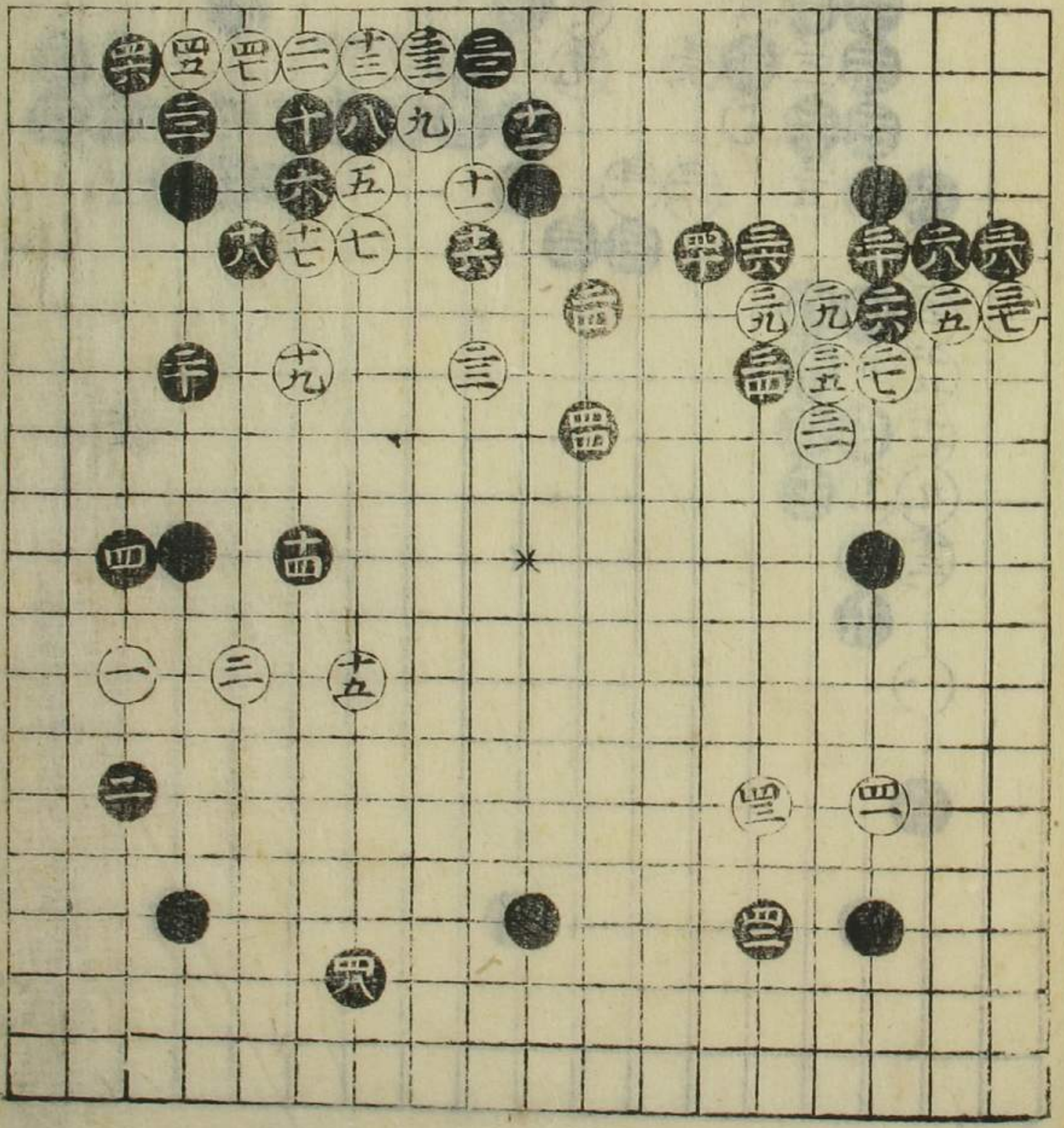


八目置之部

三十比も左右位を
 多くて大位は
 一連常ふるんは
 三八角を守り
 白を高くする
 あり考見しゆき
 手の振るも却て
 後一必務の取
 八者
 二八者
 三十者



ぬき堅大位は打
 白より手後か
 考見し必務の
 取れ
 十二者
 十四者
 十六者
 二四者
 四四者

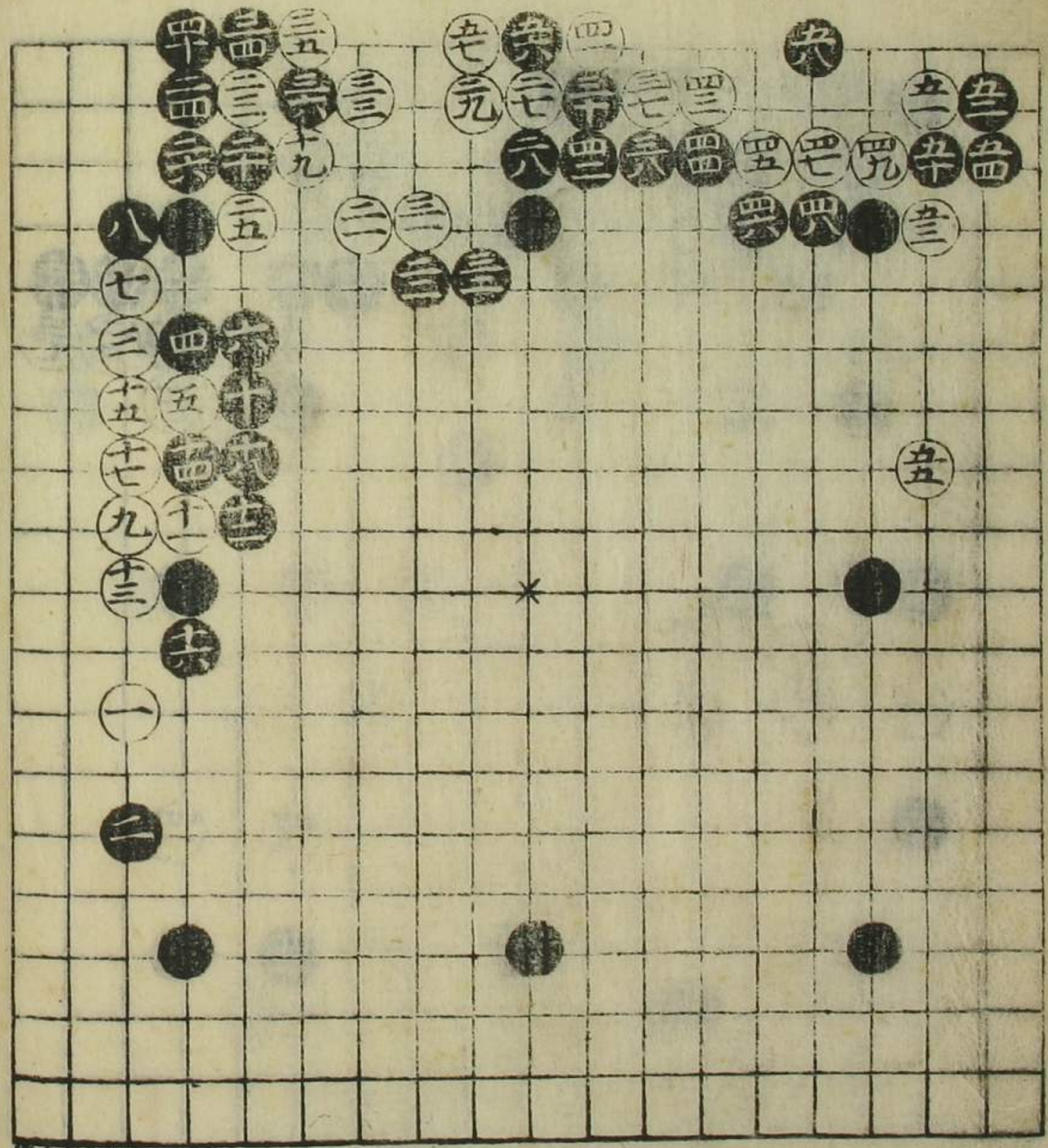


八目置之部

十五

十五

此は白下へ打りて
 極向ふありて八黒
 十分之考へんをし
 必後之形也
 二二番
 五八番
 三九番 却り



鳥田書

